出羽太平記

壱・弐

K
209.5
デワ
1，2

安永二巳年高嶋氏より写

出羽太平記

壱
弐

菊池約蔵書之一

K 209.5
D
1

出羽太平記巻一目録

一 最上義光僭號之事
一 附上ノ房猪監物守逝去事
一 谷地城主[illegible]十郎長高討事
一 寒河江ヶ城合戦 付 [illegible]江兵庫頭之事
一 八沼城合戦 付 岸美作守降参之事

二巻

一 天童合戦 付 延沢能登守働之事
并 [illegible]天童頼久孤ニ成事
同 延沢能登守満延降参之事
一 最上義光[illegible]将軍[illegible]并[illegible]尚[illegible]
一 谷地宮山[illegible]事

山形県立図書館
65949
昭和卅四年三月十七日
山形県立図書館蔵書
読合

K209.5
D
1-2

三巻

一 土佐守之病気依無照宗於居合戦 附 照宗武名離事
一 宮内民部逆心之事
一 掾之宮内兵部大輔生害之事
一 宮内休範之助妻子并ニ田居行事
附 安田四郎之居城敵離打事
一 延沢掾之目代佐々木守満益勇力事

四巻

一 鮭延居城事 附 佐々木典膳秀綱庄内へ落行悪尼形処事
一 来相掾之草刈備前守小野寺与行策事 附 水島山寒来事
并悪尼形滅亡之事
一 庄内之土民一揆 附 十五里原合戦事

五巻

一 上杉葛門景勝公依岩到来之事
附 義光公姫君為秀次公妾何程ニ而殺害之事
一 家康公御紀子五郎会津へ御進発之事
一 近江諸士居加賀、山形へ敗軍之事
一 江刺金山つる所、丹後与兵衛尉時政討死事
一 畑谷合戦 并 掾之江口五兵衛光清討死事
一 会津勢分軍評定事

六巻

一 上ノ山合戦事
一 長谷堂合戦事
一 会津勢引退之事 附 仙北伊達正宗公加勢来事

七巻

一 義光宍行福存首宥勝子　附上京之人首事
一 下治右エ門浄善事
一 尾浦城合戦事　附下治右エ門最上河先陣事
一 沙大宝寺島揃事
一 伊達大輔義康公生害之事
一 義光公御逝去之事
一 式問
一 義光公八巻 御室譜　浩将ちか行之事
　作選代我楽足坂枝持ち宅次　附城地大率十か村事
一 寺社領之事
一 内記の之事

〇最上義光鑑碑之事

其頃出羽山形ニ有最上義光ト云フ人 先祖ヲ尋ルニ清和天皇之後胤源家ナリ 八幡太郎義家朝臣ヨリ出ツ 義家四男ニ式部大輔義国 其子足利判官義康 其子上総介義兼 其子左馬頭義氏 其子宮内少輔泰氏 其子斯波尾張守家氏 其子宮内卿宗家 其子又三郎宗氏 其子伊予守家兼 其次男ヲ修理大夫兼頼ト云フ是最上氏之先祖也 然兼頼公下向ハ五ヶ年大崎郡斯波ト云フ所ヨリ欲セシカ後光存院ノ清学足利尊氏在世延文元年ニ出羽按察使ニ補セラル 同年丙申八月三日ニ羽州最上郡山形ニ着ス 都ヨリ二十八ヶ年ノ星霜ヲ経テ康暦元年己未六月八日ニ

逝去ス光明寺殿是也其所成沢ニ在リ 其子右京大夫直家 宝勝寺殿
月潭光公大居士 其子修理大夫満直 法祥寺殿叔光大居士 其子修理大夫満家
雄宗寺殿虎山高光大居士 其子兼宗 一本ニ義守 右京大夫義春 龍門寺殿天真光公大居士
子ナシ舎弟修理大夫義秋 降仁院殿松嶽明栄公大居士 満家ガ孫子 其子
中野治部大輔満氏 中野山形両所ニ城アリ 其子右京大夫義
アルイハ秋林寺殿天徳安公 其子義定 正戒寺殿月潭光公 旧勝公大居士 子ナシ舎弟義建 武門寺殿
中野 其子義清ノ子ヲ養子トス左京大夫義守也 林公大居士
其子出羽守義光ト云フ 後ニ山形ニ居住ス 先代居城
仁ノ大乱ニ其方武蔵衛ノ衆ニ云フ ノ陣寺居ヲ出ルノ地
要害ハ只名ノミニテ義守ノ勝手ハ終ニ山形ノ地バカリニナリケル
然ルニ義光公ハ其性質ヒトヘニ豪勇ニ勝レタル故ニ近隣ノ折
廉ヲ窺ヒ既ニ絶ントナリ出羽一七ノ字ヲ遺トナル 其子細ヲ尋ルニ

彼義光ノ士臣ノ内カトヤ代々 義守公ノ諸臣ニ密々ノ山中
言成トコソ云フ居泉ヲ用ヰ為ニ数日代官ノ通路ヲ内通ス
其近臣ノ賊数十人旅宿ニ忍入リシカ 近習ノ者其宿ニ居テ
防ギ戦フ 義光ハ未ダ年若ナリシカ切合ヒ二人ニ手
負セ一人ヲ討取リ若殿ト申ケレバ 代々義守公ハ其ノ眼力ニ
只御ヒケン不斜悦ビ 直ニ御裁判 一年平治ノ逆乱ニ
手勢大将ナリ 千余騎ニ二手ニ分テ大内ニ皆向ヒ
侍賢門ヨリ押寄セ 藤原ノ成親ハ楯ヲ並べ 待賢門ニ防ク
頼信ガ大将トナリケル 国ヲケンシ 二条ノ彼ニラシタリ 平家ハ勝ト云フ
内ヨリ責入 先祖左馬頭義朝ガ子息 悪源太一旦平氏ヲサンザン
アレ追落セト下知セラレケレバ 平家ノ臣藤田右京ノ大夫ト云ケル
十七騎ヲ馳向ヒ 小松ノ内大臣ノ嫡マシマシトノ撰ミタリケル 又多田蔵人
公ノ知ノ形ニ監賊ニ鎮ヲ平ニテ押寄セケル 折節近習ノ

人々モ居合セザリシカバ満仲公ハ怒ラレ提テ出テ父々ニ迫テ蔵字
数多ノ人ヲ射伏セ玉フ故光臣ノ舎弟満政公ハ多勢ヲ率テ
中ニ入テ散々ニ切立御キ玉ヘバ四臣城ヘ遁シ出テ四方ノ面
ニ逃失ケリ其後満仲公ハ和田ノ御キモ年ヲ経テ満政公ハ平モ不可
労遁康ト申サキ卷ト玉フ程ナリ故モ得ケケレバ一我守公ニ感セ
ノ餘リニ手代ヨリ宗ト傳リシ無刀ヲ鎮ト号セシ名剱ヲ取出シ玉ヒニ
新セ無刀ハ某十七年ノ時揃下嶋ニテ卷ヒシ所リシ付其
場ニテ又上マリ流リ侍久シ太刀也此ニ妙ナ叔和田ノ御キ比類ナキ
所ハ即チ無ヒナリ也遁手ツカラ此度ニ廿シ賢定公モ深ク悦ヒ給ヒ
在テ此天子十代ノ遁ヨリ山形峰ニ即リ玉フ斯テ天正八年三月
中旬所ニ一我守公ハ異例ノ心地ニテ青月迄打臥玉ヒシ
諸寺諸山ニテ種々ノ祈祷残ル所ナシ医術際ナク尤モ
玉ヒシガ其甲斐ナク同年五月十二日ニ七十歳ニテ遂ニ逝去ナリ

即我光公ハ此家ヲ賀玄若ニ讓リ給ヒシ義定公ハ陰ヲ建
立シ玉ヘシ則龍山龍門寺ニ於テ種々ノ法事ヲ修シ法名ハ
銘
リケル栄林太居士トゾ申セシナリ

一 六谷地之陣之事并賀十子討事

豊後山形ト号シ六谷地トゾ云ケル爰ニ賀十与長尚ト云無双ノ剛ノ者
賀藤モ同道ニテ在リ合勢之者我ニ長尚思ヒケルハ今年ノ
諸士一統ニ威切ニ思ヒ彼ヲ悦フ也人ハ卯トモ云長尚ハカカル人ヲ忌ミ

コニ又此アトモ二十云武光ヲ盛ニ山形ヲ押領シ云ノ云トモ云ト
思ヒ其後天下ノ武将織田信長公ニ使者ヲ上セニ青鷹
壱居駿馬一疋ヲ献シ其外出羽ノ様子使者ヲ以テ申上ル
深キ代ニ最上ノ之名字ヲ賜ル一人佐竹公ニ其子ノ才十六ハ
左モアラントテ思召ケルニヤ急ニ返書ヲ賜ニケン此子ヲ出羽ニ世上ニ隠
レナケレハ一我家公ノ侍等カラス思ハレケル家人志村九郎兵衛
ヲ以テ御使者トシテ白斑ノ鷹一居月山ノ鐙石郷
駿馬三疋ヲ信長公ニ献シ御詳細ヲ申上ル虚実ヲ聞サントカ居黒
代ヲ務テ其国ヲ守護ニ備ヘシ折柄甲斐ノ御道路不自由
ナル故其後上杉ニ山形ノ宅ヲ依頼トシテ使者ヲ遣
献上ス于ニ其国ヲ安堵ニ備ヘシ信長公御書ヲ賜リ
使者ナリトテ下々モ近江上ニ百日家康公ヨリ使者ノ
御用ヲ九才兵衛ニ来リ其代々其国歴以テ之在テ備ニ其

其ハ信長ヵ降スヘキ人トヤスストモ則国家ニハ自然ト五ヶ國ヲ上
出羽守殿ヘト書信ヲ其子ヲ遣シ上リシハ九郎左衛門
相殿ハ輝ナト如クリケレハ両国アワニ山形ヲ下リケル義光公
不斜喜ヒ御アトヲ賜ル申シ通ランヤ其事ヲ付ケ思召
家臣氏家尾張守ト評定在テ後ニ信長ヲ討ヒントテ
テ信長ハ頓テ此ヲ思メ義尚カ敏ヘ返リケル使者ハ急ニ
死ナリシカ此地ノ風ニ名家若ニ出羽守請合テ彼ノ此ヲ役ス
義尚カ家ハ子氏家カ此ヲウ出ス長尚此ヲ振ンテ
終ニ此ノ使札令往書ヲ年ニ言御寺院ヲ請テ不伝云
自他之人民ヲ附シ慎テ不直自カ以テ後報ヲ語之上如水
莫ニ一ヲ道旅此恩ニ以テ実云此ノ女ヲ有此ヲ定之云
並ヲ始メ之ヲ以テ相此息女ニ異ニ嫡子伊達大夫ノ命
御文日ニ来ル義光公取始メ新ニ右ニ右伊達扎ノ節進

辛酉往生医ヲ元ニ帰ス之説
印月七日　山科出羽守殿
於仙洞　氏家屋住重悦
妹尾十郎殿
長尚並曇理合戦武蔵守ヲ見テ吁此ノ敵
時年々叶フベシト不悟息氏家屋住重悦一義
ト合和僧加勢ヲ申ス仙洞ヲ奉仕ニ忝モ大ナルニ至ラバ
其時ハ御和ナル往生事有リ　其時ニ一義ヲ以テ
疑有ベキゾト案シ而ニ義見ト和睦可致旨返札　学
氏家カ使ト時雨ノ役ノ状ヲ以テ来ル僧兵ニ返礼ヲナセバ
左様往生ノ侍見ニ一義ヲ云ニ上ハ一義ヲ以テ術待
咍噂ワッコウノ気ハ医也其屋吉日良辰ヲ撰ニ長尚往返
取ハ汲ミ千秋万歳ト祝シテ可見互ニ使者ヲ以テ申ス

雖有長尚ヲ解ク度ニヤ究局アレ此山形ヘ参府ス
可キナシ依テ其義ヲ尾張ニ御往生ハ病気ト思
ハ心ニ本ノ御法ニ入玉ヒ医療ヲ以テ保ツ事アリシカド叶ニ至テ
若哉事ナリ御祈念ヲ凝シ心ヲ傾ケ三ヶ月祭ヲ今世ニ存命
スヘシト思ヒシガ今ハ我空ク成ナラバ定テ勝アリ　手ヲ入レンモ
届ニヤ其カ扎ニ病ト不持心ヲ勇シ所ハナシト割ノ陣
リモアラン惣ソト哀シ気デ宜ヘハ屋住ニ使ヲ立テ我々断ラハ
昭月ニ候也三ツ尾ニ存世ハ此ニ有マシク任ヘ此頃遠ク成ハ日モ
アラシト存シ此程ニ思ヒ成ナラバ代々ト申此時ニ門ニ至レバ
長尚病ヲ得テ其有ケ可我代ハ此ハント中止ニ承究シ山方
召出儀九十九ヘ仲遊行往ハ使者ヲ遣シ使者リ遣シ八
二時ハツニ今此時ニ宿ニケ長尚ハ時雨ニ申候ヲ承知
挿ニハ次日盛ノ御家ニ任サレ今年師ナリ存命至極付
労執矢田ノ提ウモ承ヲ聞キ心安ク往生並ニ懐ヲ遂ケハ故

急ギ空シク帰リ来リ哀シク申シ来ル 此由聞給ヘカシト思ヘドモ高
時ハ備前守ノ陣ニ参テ時ヲ得タル所ナリ 彼ニ告ゲ心底ヲ尽
サントケレ共 城ニ籠ル事ナレバ 之ヲ告ル事叶ハズ 只今左様ニ
弱ニテハ叶フベキトモ存ジ申サズ 其辺ニ在ケレバ
休息ノ為ニ 山形ノ馳向リ 其ノ上ニ 佐々木 [illegible]ヘ
待申ス 去程ニ 今ノ体ニハ [illegible] 長尚 去 侍リ 立出
馬ニ乗ラントスレバ 彼馬 [illegible] 断ッテ三段左ヘ廻リ 馬 [illegible]
長尚 [illegible]ノ後 [illegible] 勒ヲ打 乗出シ進ミケレバ 山 [illegible]
山形 [illegible] 着ニケル 山形ニ 作リ付ケルガ [illegible] 柳 [illegible]
引カ如ク 体下ノ 探 長尚 [illegible] 尾形 押ノ 代 [illegible]
[illegible]ノ人ヘニ ケル [illegible] 先立 一門 平 [illegible] 郎ヘ 出 向
互ニ 弐 [illegible] 信士ニ 行 [illegible] 尾形ノ [illegible] 廻 [illegible]
諸士ノ [illegible] 近 [illegible]
老中 [illegible] 地 [illegible] 宝 [illegible]

新[illegible]ノ行人 薩摩ノ壇ヲ立テ五檀ニ飾リテ真言秘密ノ
秘法ヲ修シ 香ノ煙ハ 綿々 [illegible] 空ニ満チ 振鈴ノ音ハ
雲ニ響キ 護摩檀ノ煙ニ [illegible] 煙リ出ケル
典薬医師ハ 数ヲ尽シ [illegible] 陰陽師ハ 一弄 [illegible]
[illegible] 典薬医師 陰陽師 [illegible] 識ニ [illegible] 大 [illegible]
給フ 長尚 [illegible] 日比ハ 用心深ク [illegible] 若 [illegible]
ケレドモ 是ニ [illegible] 心 [illegible] 哀シ [illegible]
病 [illegible]
長尚 [illegible] 近 [illegible]
[illegible] 所 [illegible]
[illegible] 自 [illegible]
思 [illegible] 身 [illegible]
[illegible] 左 [illegible] 気 [illegible]
抱 [illegible] 起 [illegible] 我等 [illegible] 日 [illegible] 身トナリ 心 [illegible] 思也

走出ノ等身程ノ樽甫近江初宿ニハ我等ガ屋ハ候ヒ
奉夫未ダ若キニハ庭ケ俄ヒアリ共ナル業モ廻スベシ共ハ
論ヲ待チ探ニ甘エニ我ガ大事ハ代々ノ宗国ニ候ヒ太夫
成ノ金ニ遊ニ従テ登トテ何ヤラン錦ノ袋ノ女ニ付ヲ出シ玉ヘバ
十郎三度有難ク戴キ借社出羽ノ主ハ君ニナリト言ハネト包ミ
見ハレケン心ニ笑ヲ含ム了浅ク見シキ哉欲深キ孔生ノ山路ノ露
立チ眼ニサイヤ才覚ノ外ガ多シ悪党ノ先挨ノ風ニヤ散ケシ
唯刀山剣樹ノ身トナルベキモ不知メ哀レ寛氏公孔ガバ我
下モ宝寺モト心ノ内ニ思ヒケン長高ガ女右ノ腕ニソ思ヒケレ
甘時寝起居吉也道床悲ン代々トモテナシ枕ノ下ナル太刀
押石抜打ニ打玉ヘバサシモ剛ナル十郎モ二ツニナツテ伏玉フ
日頃ノ太望為遂トシテ花ハ笑ヲ玉フ傍ニ寝シキ
大和ト言合ヘリ兼テ三リ十郎ガ虎御前ガ打トモヒトシテ義実公我日未ダ
カケ色脇ナレバ我手ニ掛セ給ヘト断ヘ計ラヘシト守ヘシ

十郎ガ供ノ者ハ驚キ為トテ後ロニ星ケルガ五ニテ合図ノ太鼓
打ケレバ孫三郎待チ御付タル若者原三方ヨリ立帝ニ
押取込ンデ不残討取ケル廿年ニ及ブ尚カ近頃ニ住シ兵
乞延年トテ勇三ノ色白ク眼大キク力強ク早業モアリ
上手三心呉キモ千ハ其ノ如キ者ガ若干ノ恩ニ思ヒ五ケ
廿日供ニ出タリシニ三ケ鉄ニ入テモ飛ビ々ニ出ル者モ人
コソ下此ノ掛際ニ走リ付ケ来ルトモ云ハバ人々先ニ抜
テ谷地ノ陣ヘ告ゲ知ラセバヤト思ヒ主人ノ持セシ長刀ヲ借リ
軍ノ服ニ居ルモ眼ヲ配リ居テ見ヘ付キ一文ニ
五ノ此ニ是ヘ二ミノ足音ニテ者侍ノ沢ノ中ニテ制シガタキ者
音ヲ立テ程ニ来破ヤト思ヒ足ニ五ノ方ニ太鼓ヲ打ト等シク
平ノ此ニ来ル早キ長刀押取振カザシテ外指テ出ル右
ノ者共怪テ者侍ソ有レハ十郎カ供人付タルニ迫リ入ル
早ク今ヤ長刀持テ出タル十郎カ供人ヘキヅ通入テヒキ
押カクル彼ノ妊手ハ花ヲ先達走リ入ル山形ノ北ノ所ト

マリ四五町ノ地ヲ十文ナル七所ト云所ニテ追手ノ者共馳付
追スマジトテ返シ行ラレ旗手取テ返シ長刀ニテ切テ廻ル流石ノ処ト
拔ケ落リ飛鑓ヲ切テ遍ル有様下ノ書ト云所ノ作ノ目ニ入ル
手ニ答ヲス水ニ映ル月ノ如ク追手ノ者トモ寄手ガ取鑓ヲ振揚
有様ノ近月ニ又ト折サケノ姿ノ長ク久ク付サレバ寄手モ上ヲ
返リ走ル様ニ又ヘ二ケ所振中ヲ手ニテ近付者共三十人
雑倒シ二方ヘ追散シ僕リニ息ヲ切レケレバ水ヲ呑ント思共世
右家ノ隣ヘ立寄ルヘキ隙ナクシテ長町ノ北ノ郡外レ迄 後ジサ
リニ下リ下ヲ西ノ方ニ仁保ノアル心ニカケテ引ケレバ敵ノ
方ハ目ヲ放ズ火防ニテ追本ヲ急ヲ彼仁保ヘカヽバト打伏
シ居ケレバ追手ノ兵ハ猶カ上ニ寄リテ名ヲ惜ヤ伍平ヲ
討トモ立テ首ヲ取ル我ノ人ノト尊信ノ所ニ作リケル由
方ノ陣ニテハ白取十郎自身ノ作ノ取螺ヲ吹立鐘ヲ待
世ヤアリケン 稀ニ太鼓ヲ入レ作先立ニ上尾崎右衛門押ニ出ル

十挺組ノ足軽大将佐藤 甚太夫ト云ハ三番ニ斧柄ル人ヲ従付
四番ニ持刀組ル人来拾デ五番ニ長柄組ル人好用叶ヒ
六番ニ小筒ニ挺持筒伴組七番ニ飛鳳ル挺大筒
八番ニ長巻ノ手ル挺甚急無市九番ニ笹差ニ長柄
ル所此甲冑右衛門十番ニ月山弁ノ[illegible]翻形ノ大串来
柄ノ鑓ル所志村孫右衛門廿一大筒ニ大筒ヲ吉筒守宮花
守護ノ気先モ馬引寄モユラリト打葉三ル挺ノ長柄
ノ内三十人ハ遊戦者ノ名ヲ付ル居ノ者共月山弁ノ長
身ノ鑓ヲ為持テ前後ニ此者共ニ寺挑左右
畑谷右近之助同猶左衛門ハ引ト云剛ノ者左右ニ従フ
野戎先ノ大筆ドト云長五尺中ニ尺打ヲ伐行ニテ
三尺ハ縋ヘ郡丹ノ大房ヲ付表ハ金箔ノ限ノ大圓ノ勝
平ト云フ下部ニ持セ渋ニ多田弥度ヲ押ト定テ騎ル時

ノ大将ハ…乗玉リテ石地ノ陣ヘ…向テ…
其日ノ装束ニハ緋縅ノ直垂ニ萌黄威ノ鎧ヲ着テ同毛ノ
五枚甲ノ緒ヲシメ三日月ヲ眉ノ前ニ打付…着テ…
形磨キタル左右ノ小手臑当…
三尺五寸ノ丸鞘ノ太刀ヲ帯…一尺八寸ノ打刀…
鐙ヲ遠ク…帯…羽ノ矢…負…
ノ…持…手…太刀…三日月ヲ磨キ入…貝
鞍置セ…ノ鞍…鞦…色ノ手綱…
…懸…ヒラリト打乗…ニ…持…馬武者打歩
武者五百人…左右ニ…前後ニ…力…打セ
路ヲ押テ楽出ス…長…ノ…方ヘ…守…
十七ケ国ノ…有…細…
マゝ口…今…危…
共ニ…会ニ…置…根…無…
…

…国ニテアレバ降参シテ…旅カル…ヲ…石汁…玉フ…知…
ト降参…ナラバ…方…降参セバ後…
カル…ト…ケレバ…寡…義…
ニ…日…ヲ…合…対…後…
…ト…我君ニ…乱…
…玉フ…人…一人…
…

…ノ…打…一ノ…之…
…見…人…
…計…身…
…
…

…ト…ケレバ…
山形…
…
…

討レケレバ城中ノ女童ハ我先キニト居タ堪ニ寒中大堀ヘ飛入寒河江
勢降参スルモ有リ火ノ中ニ飛入モアリ腹ヲ切ルモ有リ目モ
アテラレヌ有様ナリ此戦ニ寄手ノ手負死人七千余人討レ手負ハ三
百余人也城中ノ者共ハ上下三百八十四人トゾ聞ヘケル山形勢勝鬨
ドツト作リ城ヲ乗取リ人馬ノ息ヲ休メケル

〈遊摩原合戦付寒河江城落ル事〉

去ル程ニ氏家尾張守此旨先ツ太将ニ言上セントス處ニ大和守士
卒二百余騎残リ二百余程ヲ提ゲ居タリ寄手ヲ待受ケ鞍置ヲ打テ御
降シ師ノ陣ヲ大ニ逐一ニ信ヒ追テ一戦セントハ構ヘ居タリ先カリケル若又
山形ヨリ乾ニ當テ五里計寒河江ト云フ所ノ鄕司寒河江豊前
陸奥守トテ中ムカシ他ノ先例ヲ尋テ一手右大将ヲ刺立テ居
世ニ知レル名司ト云テ籠居タリ彼地ヘ下ラセ玉フ大膳大夫殿ノ陣営

公ノ重臣也シカシ去ル程ニ府中ヘ参リ又若キナレバイザ此度ハ陸奥守モ
寄セトテ主タニ最上光公共ニ向ヘハ山形ヨリ三里余リ先ヘ出陣アリ
出陣シ構ヘ人馬ノ息ヲ休メケル陸奥守之ヲ見テサラバ侍ナラバ急ギ
北條左衛門尉両人ノ付添セ出陣シテ遊摩原ニテ一戦シテ一門ノ松
左門・物持子中色・留守上野・楯山兄弟・佐竹兵庫等ノ侍大将先頭
平右衛門・羽黒坊ナド・嫡子同苗右衛門ニ至ル三人ハ我先キ行ト大方
三百余騎ニテ寒河江ヨリ出テ先キ陣ニ地ヲ取リハ遊摩原
ニテ出合付作ツ行待懸ケタリ山形勢ハ打立ケレバ寒河江勢モ
地ヲ遊摩原ニテ出合戦ニ籠ヲ立テ長ク備ヘタリ早打ヲ勝負
ナリテ最初ノ先陣ト號セシケレバ寒河江ハ両ノ羽ニ羽黒坊十郎トテ若
大剛ニシテ力強ク長刀ノ身ハ難刀ノ上手也羽黒坊ヲ見ハ
木蘭子ノ重籐ノ弓乱天狗ノ左右ノ手ニ雲ニ房ノ佩楯ニ大
立上ノ腹巻ニ鐙踏三ツ外逆ノ鉄鞭ヲ付赤革ニテ白糸威ノ腹
巻也ノ時ナルヲ着錐尾羅ノ布蛇上帶ノ七手トシ銀ノ月毛ノ
三枚鞆ノ兜甲吹返シニハ金銀ニテ日月ヲ打タルヲ猪首ニ着

三尺八寸ノ太刀帯テ一尺九寸ノ打刀前ニ指下シ
岩透ト云フ指刀妻手ニ收テ指添紅ニテ黒モシ楯妻指タル
銭ヲ鋸ル胯就テ脇ニ羽テ刺ニ鋸十分矢ヲ負ニ竹矛ヲ
推目黒羅紗モ太皇ノ七寸馬ノ鋳カケ地ノ轡モ
猩々緋ノ鞦ト紫ノ氣ト云モ楯ノ鞍ツカケ馬ニハマセ浅ニテ
実ヲ仮シ深ク子ヲカケテ立ラリト打舞ヲ三尺ノ太刀柄ヲ三
人ノ手ニ摘ム人ノ兵ヲ多ク取ト云フ鋒モニ大力打タリシカ持タル
ニラト所持押反リ三尺ハ四ツ合ニタル岩ゾンナル宸ニ追
掛ケ打ニ打タルハモテ鎧草ツニヤツシ馬上吉ハ人馬共ニ切落サ
向篠原カヲモ乗カラス切テ通リケル吉清ニ羽葉文子ガ出ルト
ラバ恐シ又人ハナシ寄手ニ通テ備ヘ移ランドスルハ宮ノ仕時ハ
膺臭ハ京ノ道テ射シラス味方陽ニ雨ト風シトスルハ敵ハ陰ニ雨ヲ蒙
テ山刀視術伍子胥カ術ヲ出シ味方ニ引カバ敵モ散ケス再ヒ食宗ル

斯カル処ニ宮方仕物打出ス持テ寄掛乱レサシ乱ヲ入ヘケレバ敵十五四
人ハ引モ浮タリヤ應ト云フ儘ニ茂邇ニキ高山ノ鉄尺ノ際ニ打出タル
杉本ニ五尺八寸ニ撫ヲハ角ニ削リ廿日々ニ周金尺ニ尺許
本ヲ丸ク取ル鉢ニテ散々ニ打廻レバ寄手ハ是モ陶ラス二ヲ勢
ニト逃タリケル羽葉ニ文子勝ニ乗シ中ル所ヲ追打ニ乱ケル寄手ハ山形ニ
ニラ逃ス理日羽葉文子宗兵ニハ近カテ中程ニ奉ル貴カ乙ル所ヲ急キ
先ケレバ義貞宮方ニ打宗兵ヲ近テ中程ヲ馳向フ戦ニケリ宮方仕物
勢ハ力ニ恐シ味ニ今朝テリノ疲ミテ心ナラスモ諸川ヲ指テ引ニケル
義ニ中程ノ雨ニ舟町ト云フ大右岸境ニ来舟附ト云テ底深リ
川巾二百余ニ有又(キカ猶ツ)引外シ逃ケルヲ猪年ハ以々越
ニケレバ尾張ノ含人トシテ七寺ニ成ケルガ只一騎趣ヘ走テ大声ア
ニラ草ヲ又ルコウモ之杉ノ中ノ岩ヲ逃走タル了ノ民ヲ少シ世出シク
被レテ石ヲウセン物々レサトシテマニ舍人ヲ加エ師ニカナフコニ長刀杖ニ早
廿騎程ケニニラリト飛上行ハ四五丁先ニ猪門トシテ中ニ十四程
ノ川有斯節水増リケレバ彼舟ヲ流シ陸ニ引上置ケルヲ舟ト

引下シ諸軍勢ヲ敵陣ヘ寄セ其身ハ舳ヘ廻リ乗リ捨シモ早キ
川ナレ共向ノ岸ニ打上リ舟共ヲ押流シ川端ニ陣取ル山形
勢是ヲ見テコソアレト見ルヨリ持楯手々ニ突並ベ弓ニ義光一家
ノ侍既ニ是ナラバ勢ノ人敵ニ寄セ出アレト下知ス打ハヘト矢ホドキ放ス
尤ニ味方ノ先陣川端ニ打立敵ヲ懸ケン処ニ陣ヲ早ク崩サレケル
弁ナラズハ敵ニ難シ唯射取レト下知ス射立シ処持楯ニテ支ヘ
ケレバ其方山形ヘ押寄有ル一段当公見参スル処ニ出仕合セ
又子将イ敵ニ出ニ云ヒナガラ無策ニ寄セ男力ノ人ニ構ヘシモ其ニハ何ガ
助合モ味方ナレニテ持ナラバ鎧ヘバ兜ヲ欠ル様ナリトモ打ツ
方ハ打破ラズ左ニ可惜兵殺サレン事ヲ思ヒサレドモ
侍ヲ軍ニ出シ候ハ悉ク討レ侍リケル侍共皆討死シケレバ
勘十郎ハ学文ヲ好ミ勘十郎ト名乗リケル
内々貴公之御事ヲ承リ度存候処此度
見城未得御意之間也去仲近モ勇々為之不

横雲隆シ此等部少将義光ニ及ビ入風聞候陣
詠為ニ御往来之合戦候人ニ向ヒ合和談ノ事
作ル事之通ノ事全不可有疎意候手
ニ是近日者ノ来ラバ一段ノ上ニモ其ヲ快気候処被一義光
今定御所ニテ向後ハ可有御相談候
恐惶謹言

山形少将義光
五月七日
氏家尾張守光行判
宮所江寺井屋ヘ山伏
羽黒山寺十郎殿
去年ハ四ケ月ニモカカラズ入セケレハ出羽ニ加勢可有之ト評定シ陸
奥白石合戦ノ時ニ此由トアラン和睦可有ト思ヒ
ナリ其後ニ件ノ者共ヲ以テ御家ノ事ハ兎ニモ角ニモ
必ズ是ヲ御用ヒ候ハバ存外ノ事ニアレ共後ノ大将ガ幸
両方ハヨモアラジ向後ハ光家ニ付ケ味方ノ心ヲ侵シサセ

罰セトモサレンハ必定也訴訟其儀ハ業ヲ任セルヘト云由申付候事
返状同氏家ガ使者ニ可被申ト候処使者之由請取
山形ヘ馳帰リ属候事ニ候ニ付属候事ハ如何様ニモ可有之
以拙者此旨ト有ル候此之人ニ其返事ニ団ヲ
出雲守事先雑掲手配札到来合戦之儀早々可被申之由
令和更ニ介ノ無之有哉ノ左右ヲ待付ケ主殿人数ヲ令之
可相調哉不能許言述下去候其意所存有之違背候者
皆一戦之節陸其左右ヲ承候其身ハ右之者共其構
不依多事恐々謹言
　　　寛延四年[illegible]寺[illegible]
　　　　　　　　　　　　　　　羽[illegible]
山形大将殿
　　　氏家尾張守殿
ドモ[illegible]

有侍ヤ殺サンコノ不便ヤトテハヌ人ハ社ナカリケル我是公
少時有テ四郎ハ[illegible]心中ニ思ヒ是ヲ早ク[illegible]トナリ昔ハ山三郎ニ
兄トヤ左程ニ数多サ[illegible]是レ申ケバ[illegible]捨レ前宗
力責ニスルナラバ人ノ身付スコト許リ即時ニ不可有勝負
今度ハ僕ハ帷幄ノ面ニ廻シ勝タラシ千万ニ退セン由申
可打掛ケル十二ト八ハ何ノ難ケル戦ナバ定テ[illegible]ニ任セ
何出向ハ味方勢ヲ手勢セズ敵ヲ撃ツ戦ヘシ其時猶々[illegible]
追掛テ戦ヒ其時味方ヲ討ル退キ猶戦リ込[illegible]
此ニ依テ手出ニ寄手ノ伏兵ニ鉄炮ノ上手二三十挺伏置キ
八方ヨリ打ヘシ[illegible]十郎ハ無気ニハヤル若武者ナリシバ時平
此度ガ勝負ニ[illegible]
先立進来ラン其時近々ト[illegible]
ケレバ[illegible]
来ル[illegible]上手二十人[illegible]

目ニ物ニ打ナラバ打残シテアルベシ拍子ヲ揃テ打ベシト定メ
諸手一々ニ備ヘ明日辰ノ一天ニ打立ベシト陣觸アリ、翌
未明ニ寄兵形ニ荷ケレバ大将馬ヲ出シ玉フ處何ニ侍
三郎兵衛ガ前ニ来カリケレバ定テ明日山科デアリ貴メ可
来依テ毛馬嶋ヲ乗取ラル、ナ今宵長崎色清掛侍可
ニトテ宮師四郎可宮備寄手ノ押左ニ以二人ハ侍者也
留居ナリ陣ヲ定テ主般ノ鉄十有有ヲ手出テ四人ツ出
行ニ於キ前ニ三ヲ備リ出居ル廿四日晩方ヨリ窓口ニ立長崎様
ミヲ見テ作メケル山影モ少モ替ヘ若トナリシガ陣所ヲ打
テ用意シテ心静カニ長崎ツ打立寄ケル所ヘ出向山取動
中ヲ一見シ作メ心静カニ具板ヲ乗馬ニ華鋼腹帯ヲ人馬
静カニ乗出シ香摩カ字ニ打向大将備川宝ニ備シ居
異風并武者ヲ卑メ世事ガ成リノ上ニツ付リ三十人遊リ
向肥宮勢ニ抽シデ姓ナレツヾ周シ打テ臨ム一手ノ小宇字也

ヲ鳴セ太鼓ヲ打乱声又之謂ノ一張ノ弓ノ力ニ任セテ一矢ニ下ワレ
打寄セ折ガ作成ナリシカバサツト来ル何程ニテ宮方ノ先年ト
打戦剣ノ異風并依是打ケガ寄兵先立追出ケルニ張砲打ケ
シバ乗リ込馬ノ鳥面銭子ノ者退ラシ張砲シテ打乱思栗毛モ
放ラヘス大居ニドウト倒レケル羽栗大ニ怒リ柄ニ残ノヲ付ル
長刀揮及人馬ヲ不嫌切飛ニ乗タル馬ノ諸腔十ヘテハ跳ヌ落
ミ半首切テ飛上ノ高張ニ切テ落シ斬カル又ニ寄手ノ成ニラ
月叙ニ堪武者一人馳ケ来ト我ハ少将ノ成母弟同取左衛
ト云フ者ナリ相振ハ誰トモ云ヒケレバ甚十郎之ヲ見テ甚宮寄ト
突山形ノ蛇ガ腹ノ方ヨリ我ガ名ハ七州ニ高キ士トシテ今ニ名非ズ
寄兵ナル丹羽五郎ノ右ノ葉ニ右ノ敵ニシテ名ガ寄ハ宮方ノ高キ下ガ
家ノ子羽栗甚十郎トナルトモ七ト中ナリ一天下ニ拵テ一人目通シ主フ
社清甚十郎侍哉且ツ差セントシテ傍ニ例ノ長刀並種ニ押折リ
討カカリ養ス先達ト戦ヒ一ハ敵モ味方モ戦止テノ手ニ汗ヲ握リ見
物ス寄手ヨリ吾長ノ上手ニテ上手雜手木津手共ニ雜石突大

拂切ク打寄ル返ス波ニ浪ノ如ク切リ稲妻ヤウ礒打浪ノ白ミ切
リト手ヲ持チ立替ヘ付リ残ヒシガ羽生左足ヲ後ヘ退ヒテ不
覚ノ翔ル如クニ長刀振上ゲ真向ヨリ打ケレバ多勢ヤ怖レ左右ヘ
アツト左右ヘ分リ二目度ニテ只一ノ手並ニ手二ツニ成ニケル敵モ味方
モ一同ニ呼吸ヲ措ヤ傍モ不傍ニ成ス哉ト説キ安ズルバカリハ止マザリケル
突向ケ方ノ寄兵ハ驚キニ振興揚ゲバ寄手ガ音モセザリケル
羽生ハ愈右左ヘ一躍出テ廻リ上ノ間ニ居タリシガ左右ヲ見ルニ出ル者ナシ猶塩
ツ其日ノ装束ニハ裃村子ノ直垂ニ一枚マセノ大荒目ノ胸
板ニ金ノ限リニテ白ク磨付タルヲ召シ左ノ尾筋ノ鞍ニ上帯打テ
出立頭巾ニ沫巻シテ先ヅ面ノ方ニハ鉢巻ニ立セタルニ細
紅梅返シ左右ノ小手ハ水ニ綾巻ノ佩楯シ北ノ上ヨリ腰ノ華
ミテ膝ヲ乞ヒ脛当シテ三尺九寸ノ刀ヲ帯一尺九寸ノ打刀鐙ニ返シ
シテ馬手ニ掛ケ地ハ紅ニ螺鈿貝ヲ深ク入レ覧ヲカケ長刀堤ゲ
太青上ゲ其ハ只今ノ勘十郎ガ嫡子三郎右衛門ト申者ナリ

当年廿三歳ニテ寄手ニハ今デガ始メ也且又ニハアラネドモ気色モ大体
ニ我身ヲ以テ人々ニ哀レ此出ハカシト嘲リ笑ヒテ拍子ノ手ニテ
手ノ内ニ打延ル武者一人刀十文字ニ振リ出カサセテ天晴宜ク
大ナル体ヲ延リテ町ヘ寄ツテ先ハ只始メテ打捨テ参レ
大肩ヘ刀ハ羽根大将寄手ヲ左右ニ打ツト下サル声ニテハ益々右ヘ打廻シ
参セント総寄リ打掛ルヲ待ケルガ大将左ヘ退ヒテ見カケル
羽右ニ出テ之ヲ見ルアツト思フ心ニ此ト下ゲ附ヌリヤ座ト安堵
ベバホトナキ物シハ移リ移シハ外ス外モハ付入リ引ハ込ハ込ハ除ス
既ニカクル三百人切返シ長刀ハ互ニ上手ヲ尽シケル敵味方
目ヲ驚カシ見物スルハ右左ヘ大車輪ヲ振廻セバ羽生
希代ノ術ヲ加ヘ既ニ勇士大将ヲ深手ニ疵付ケルガ打寄
相々シヤ何時モ存也狂気ノ一足ニハヤカテ手ヲ廻リ大信
刀腰ノ番ヒヲ車切リニ切落ス首陣一段ニアツトヲ云ヒ合ヘ御
其筈ナリ此形勢ヲ見ル大将ノ禁ハ変ナリト先ニ目ソ付ケテ

進退甚迫ニ成バ羽生安子栗板ノ馬ニ乗リ麦ヲ揮テ下
知ラナシ掛レくト言ツツ山形勢防ヲ不叶凡病ニ倍テ
了退如丈業勢了勝ニ乗ジテ写兵ニ遙カ先立大長刀
打振テ駈来ル謀識ニ不違思ヲ協ヘシ近マト引ヲ突依勢ノ兵
符之揚而国ノ柏子ヲ定メ打ケルニ中リ久ルト覚テ敗リニ馬モ
跳不上リ戦虚ニ有テ乗止ニシ引返ス一我先ニ遁ント大勢ニ
向ケ玉フハ斯ワラ近敵ヲヤアトテ打バ已ケルゾト大ニ怒リ玉ヘバ
仰杜原右近ヲ押ニ出申柏子揚ヘ打ル百ワワ言リ八ント
云ヘ如何ナンバカリ退キ代ヘシが戦ノ為ニ我等ヨリドウト床ノ昔日ノ
中ノ剣ヲ上れ思ルト申上ル義是ワ召搗キ侍哉宮ヲ仕ラ相昧
ミテシ畢ニ汀ヲ前ニ言ヒ残スモノナラバ又左右ニ付レヤジキリ血気
ノ勇ニ走リテ待ヲ不弁安ナト味方ノ策ヲ乗ヲ付レケルモト
宜ヒケル羽生右衛門ヲ人一同ニ付テカハリ野ラ抱
出陣見テ行ケル路ヨリ山形勢ヲ我ノ如ク勢来ルハ氏ノ方
勢十ノカ孔散ニ沈ノ石ヲ打付サ林ノ勝ヲ取ル、畢上川ノ深キ

陣ニ接矢シメリ勢ヲ了付レテ後陣ヨリ平力ヶ居レ是リ小屋安
シ陣所年シテ引退ク四丁ガ前ニ畏リ勘トモヒケレハ一門全ヲ
左ニ尾張ガ返リ状ニ同ノ和志ヒヨウコレト云ヒシ不用ノ勢成
事ノ儀アラシ升ヘ勢アモント云ヒケレバ一門衆ノ子ヲ請共ニ訖
陰ヨリ降参ヲ奉セ云フコリ安ホ代ナレトロシ揚ケ申レケレハ陸基
が云ヤウ作ヤ左ハ畏ヒ氏衆カ和睦ヲ急ル返状ニ了和睦
ミテ不スアラじト云ヒ退リシ故今降参ヲ可依ヤ敵安萬ニハ深ク中ヘ
翔出間ワカ左モ急バ体ヲ枕トシテ討死スルヨリ外ハナシト思ヒ切テ人
ヘケレバ付従ノ如ク全ク残テナレシフハ武士ノ本意ニトハ何ゾ路中
ニ向戦ヒナバ敵ノ的ニ成テ討レシテ危也体ニシ安閑ノ法ヲ手
ヲ出ヨ貴ルコトナク只取危ヘ賑ヒ及圍ヲ兵粮ヲ責ニ目ワヲ立ヲ持ノ銘
ルヲ得ナバ只滑タト餓死セシテモ名言ヘ肝要 大思ヒ六ハ
一先宴ヲ移サセ玉ヘ山林ニ身ヲ隠シ敵ニ物思ハセンズルガ武
畧ノ要ニ義ニテハ兜首出陣ミシノ功ヲ立シテ叶ハトト利ヲ説
シテ申上ケレハ陸基公方ヲ召サセ玉フナラバ麦ヲ退キ宗ル然ヘテ求メ

心静カニ腹ヤワラント[illegible]ヨリ出[illegible]ニ居リ其足ト云フ[illegible]
ミテ[illegible]延共[illegible]表ニ休居タリシガ夫ヨリ[illegible]ケレバ陸基ガ云ヒケルハ
可死時死セザレバ七生ノ要文ト[illegible]古人ノ言ヒケルゾ今ハ[illegible]トテ陸基
[illegible]大門郎只今時ニ腹ヲ切リ死シ名ヲハ惜マヌ七百ハナシ恩
[illegible]ノ[illegible]リトテ[illegible]人モアリ之ヲハ不[illegible]形勢ハ毛[illegible]ヲ無[illegible]後
ニ勢ノ人ヲ備ヘ[illegible]ニ押寄ヲ[illegible]ヲ作レ尾有人トモ
又ヘサレバ我先キニト[illegible]ノ[illegible]ヲ無取共[illegible]ハ其ニ有[illegible]アリ一[illegible]公
[illegible]ニ向テ共進ス処ニ[illegible]体ハ[illegible]カト[illegible]ガ尾ヲ[illegible]リハ之
アリ西ハ八ツ沼中道有之ハ[illegible]体ニハ岸[illegible]守ト申ハ七合
[illegible]ニハ[illegible]ト言上ス[illegible]ナラバ[illegible]
ニト評定有テ一先人馬ノ息ヲ休メケル

A ハ八ツ沼合戦附 岸[illegible]作守[illegible]
去レバ八ツ沼ハ昔ヨリ向ス体ニハ岸[illegible]作守トテ[illegible]ノ[illegible]
岩形ヘ不[illegible]近陣ヲ押寄[illegible]ニ三度[illegible]ニ合戦
アリトテ[illegible]ガ定テ其ニ押寄ヘシト[illegible]ヲ[illegible]ヘ
待処ニ山形勢押寄ノ体ノ[illegible]セバ[illegible]ノ方ハ[illegible]ニ
岩石[illegible]リ[illegible]崎チ西ハ[illegible]山ニテ谷深ク隔テ[illegible]
陣体ノ[illegible]乾ノ方ニ通シ深キ沼アリ其ハ底ヲモ知ラズ[illegible]上
ハ岸ヲ向ヒ艮ノ隔ト[illegible]体ノ根ニ手尾下ノ難所
前ハ大手ニシテノ[illegible]ノ細道ナリ艮ハ搦手ナリ[illegible]
ノ[illegible]ヲ見テ[illegible]ノ[illegible]花時君[illegible]
ニ三ヲ騎[illegible]一通休テ[illegible]搦[illegible]ハ体ノ
内ニテモ[illegible]
[illegible]大石枯木[illegible]手ノ[illegible]大石枯
木ニ[illegible]ノ[illegible]押[illegible]

放テ久ル二寄手ノ宗徒ハシドドモニナル所ヲ得ズ又リ只大ニ卜
林ノ内ヨリ六ツ矢加左衛門林ト云名誉ノ強弓宗徒
ノ一則門外ニ進出差取引ツメ散々ニ射立防キケレバ責
寄ル者多ク射ルサレ其上林ナリト悔リ責兵ヲ不用害
我先キニト責ケル事ナレバ手負死人多カリキ向林ヲモ攻
責兵ヲ用害セニトテ一里計リ草ヲ引退五百川ノ林ヲ向
城ト構ヘテ責責ニシカリ又一段ヒシト軍シサワ暴リ出
シガ又名ちや放チランシトシ進ミ不乃、御氏條カナル中林ヲ守リ
日ヲ送ル、臆病ノ至リ也唯毛ニ毛ニ責上リ勝負也ヲ止トヲ
暁ノ、宗ノ我ヲヒ寄手ノ各思々ニ三ヨ勝指の板ツキ
並ベ責上リ一息ツイテ鯨波ツクリ林中ニ向ヲ合ス寄
手宗兵又名ちやヨヤ放ゲヤト怪ム所ニ淀居タル兵
三ヲ勝進出寄手之中ニ人テ敵ヲ防ギ北ニ謀キ出シ自

在御卜目合シノ一夜ニドツト掛合目ノ通卜退ニ我々引退ノ間ハ気
ヲ隆シノ山ヲ下テ我々之ンサ四ノ方ヘ敵卜覚シクテ勝ノ方ヨリ
清夫モ男御盛ノ清ヲ着シノ四カ又打ス我身五枚甲緒
ヲシヌ四尺作リセル定宗ノ太刀ヲ帯セニ「鳳凰ノ左右ノ小手
桐ノ葉ノ條ニ青皮竹掛タル身ノ挫後ニ大水武王健タル佩
楯ニ錆色ニ磨キタル片枝節ノ腔当白檀ニモ我ラ土色ニ六寸タル
其老掛麻毛ノ太ク逞ニキ馬ニ小金色ノ鞍掛カケ廿年程ケニ
コラリト打乗長刀提前後左右ニ目モ懸ラ時ヲ下知スル年ハ五十
向ス者ハ真向打ニ追者ヲバ拾付二戦ニ胴ヤ小手挿ノハウシ
落シ馬ノ踏脛切刎落シ平首切刎追ニ人馬ヲ不嫌二三切
十騎切倒シケレバ長刀モ三ツニ折テケリ斯コソ人ハ切ル者
ゾト罵リ太刀ヲ抜テ真向ニ翳シカザシ大音上ゲ我ヲ何ト思フ手
ノ者共定テ音ニモ聞ツラン我コソ岸ノ黒作ト云カ甥ニ岸ノ
休左衛門ト云ケリシガ今ハ名ヲ改テ岸鬼内左衛門ト申スナリ
我卜思ハン人々ハ翔出御取リ返シ玉ヘト云ヒモ切ラズ大身ノ

中ヘ切テ入ル八方ニ掛廻リ爲給ヘシ馳抜テ前後左右ニ馳
セ廻リ只竜ノ獣ヲ喰ルカ如クナリ山形坊ハ只四天王荒
也ルル心地シテ陣ニサリニ引退一義光公ハ此ヲ見ル自大ナキ味
方ノ勢無哉敵ヲ追立付ノヘルニ味方ヲ案ズトテ引返進テ
向ヒ例ノ鬼内左エ門真先キニ進出ケレバ義光此ト人玉ヘ
君将故ヤト宣モアヘズ馳出玉フヲ近習ノ者共大将ノ法身
トニテ何ぞ仕ナンド留メケレバ捻ヘル袖ヲ引切テ一文字ニ無言
ラ手ニ太寛ニ流ノ拵ヲ只一打ト玉ヘバ馬ハ膝ヲ折リ
鬼内ハ前ニ居サレ立上ラレトスル處ヲ義光公隙ヲ打ル延ヘ打
玉ヘバ鬼内ガ紙レントスルヲ一スマリ成下リ鬼内ヲ抵デ之
首捻テ振上ニ退キ玉フ所ニ氏家尾張守馳付江ノ外
気色携ジ申シケルハ大将ハ任ニ入セ給フトテハヤ大将
ハヨトシテ羽武者ヲ御ヤヤラル、事大ナルヲ仇給
ハシマナレト諫メ言ヒバ近習共ヲ打舗給フ時御ノハ

無気盛ニシテ自身ノ勇ヲ好ミ大将トシテ士卒ニ先ヲ進出ル
於味方ノ什ニ案ニ安キト仰付ヌルト宣フニ於旬ルテ乱勢リ
然ハ振年氏カ丟ヲ哉ト涙ヲ流シ申シケル義光公聞
召ナクヤ思召ケン猶宣迚テ付給ケルガ近習ノ者ニ之
トテ抛ケ玉ヘケリ去程ニ大将ノ手ヲ下シ戦ヒ給ヘル所ヨ
廻リハ乃チ敵ノ者モ少ク散ニ責崩シ合戦ニ及ヒ君
シケレハ味方ノ兵ノ色ニアルヘシケレハ危キ様カヤ若キ共進ミ入驚
シトシ玉フヲ尾張守取テ押ヘ只今申ルヲ若共孚クモ忘レ
玉フ若哉トテ真先ニ進ミ手綰堤ケ高ヘハ氏家大
物打スナトテ老武者ニテ手綱ヲオスキ叫ンテ切ニ入支
字ニ引返シ度ヲ先途ト戦ヘバ何カハ以テ溜マルヘキ蜘蛛ノ
子ヲ散ラスガ如ク追立ミ味方サレテ逃登ル山形坊ヲ
追サス付ノ法ヲ棄西レトテ弓ヲ振立下知シ玉ヘバノ方ヨ
様ノ若者共弓ヲ不放馬ヲ棄散シ逃ル敵ヲ追駈ク處

打スナ尾張守

盾モナク責メバ已ニカ拔ベクモ見ヘ木戸際迄木ニ支ヘラレテ
堀ヘハ入リ不レ乃右往左往ニ行道モナキ行カカリ自害
スルモアリ或ハ敵ニ追詰ラレ谷底ヘ飛落死モアリ斬ク
散々ニ成リケレバ甚已ム事ヲ得ズ外ニ加左衛門抔ト云者
手餘人ノ小勢ニ責開ク敵ニテマリ立テ隨ヒ俾シテ兵ヲ卷リケレ
皆首リ不首尾成ハ稍々陸奥守ヤ上其状ニ被ス開攻ン
降人ニ出ニケリ先日ヤ文加茂男ヲシテ始末仰ニテ御侘カリシ甚
罷人ハ申ル出陣ヲ節ニ黒ヒケル去レバ仕合戦ニ持王ヲ謀ノ様ハ
上杉景勝ノ附ニ於テ身ヲ不敵ニ有ケルガ甘夜天下ノ同治
リケレバ件ノ様謂ニ於ル際ノ義兵ト定ヌ入ヲ以テ子孫ノ繁昌
是人有バ持仏迦ハ是文運ヒケル時ヲ今ニ日本上ノ家ニ首有之也

出羽太平記一巻終

出羽太平記巻二

目録

一 天正合戦并庄内城之日比野十兵衛出来ノ事
　付 武藤氏ニ於テ七郎狐成事
一 日比野十兵衛降参之事
一 天正伐色部修理亮見候理不尽押寄籠ニ落行落着ノ事
一 安宮山出来事

天三丁合戦事

既ニハワ退ヲ去ソ荒川ヲ戦ヲ按察使大ヒナリ玉ヘシカバ川西大
方ノ手ニ居シケルガ山形ヨリ三里北ト云フ地ヨリ入ル候此大夫討而
四位ノ少将ナリシガ石陸ケルガ上中ノ武士民党山ニ不居処ハ
押寄青立居シ我同伴亨キ追付此方ヘ共ニ押セ寄我ニ切リカカリ被
ガタク勢ニ敵対セバ政ニハ一下ハ書キ居ル継代我古ヲ下流ハ相ノ
無駄也ト云戦見勝ヲ居テ可佐謂ヒナシ。アハ陸野ニ睡共
名ハ戸天ノ古井ニ上シ我住安城ヲ枕ニシテ討死セン要害ニ大
夫トセマヒテ帳ヲホリ水湛造リ栄ヲ引柵ヲ振挑ヲ巻リケル一義ノ者ニ
ハ遁ソ帰陣有テ五六百ヨリシテ大軍ヲ率シ天童ニ押寄ン
時ニ天正十六年八月廿日既ニ山形ヨリ五十餘丁行テ滞山
トニ云在所有三丁行テ立谷川ト云フ川有川中ニ三町
アリ此所ニテ水流ルハ川膝ニ不届若シ雨降水出ル時ハ
時ハ川巾一二町モ及バカリ向岸隠ク石流シ船竹代ニシテ也

渡事不能然ル近日不降雨水ノ減ベキ時ナカリシ所ニ山形
勢行ト等ク水出テ増ニ不息俄ヤ水血水トナリテ江流ヲ浸
ズガ但シ水逆マニ川上ヘゾ流レケル川向ニハ直守ノ騎馬武
者数百騎並ニ分ケ中ニモ大将ト覚シキ幌掛武者一騎
真前ニ馳廻リ下知ヲ成テ其身ノ手ノ兵之ヲ入ルヲ渡サント
スル者一人モナシ一義定公其至リ入給ヒ宇雨ニ渡リ大怪
有ベシトテ一先陣ヲ引ラ返ベシトテ此ノ文付箭ヲ射掛山形
ヘ引取玉ヒケルガ翌日尾張守ヲ呼玉ヒ其方雨一滴モ不
降ニ水増リ殊ニ水逆ニシテ川上ニ流レシハ如何アルニ不
思儀成事也人ヲ遣シ見ヨトテ宣ハ一乗リ川ノ辺ノ
ケルニ佛地節リ水ハ一滴モナク川平ト成ルト言上ス依テ疾
押寄スベシ時日ヲ不移雨降水増テ丁トモ有ナントテ直ニ陣
触有テ翌日早朝打立戦矢川モ渡リ七保細芽加右衛門池松
モ打込天童ニ馳付其辺ノ山ニ立陣取リケレバ為善

馳作リ先陣ト見ヘテ山ト林トノ間ニ三丁隔テ陣ヲ取ル
ミリ十町許リ寺ニハ八幡山中ニ近キ小岩有寺ノ根ニ十町余リノ
侶アリ其寺ニ申シ山中ニ近キ山有林ハ南北ヘ三十町七十余
ヘ二千丁計ノ山ニ陣ナリ在京ハ寺ノ勝ヲ引廻シ左ハ秋田左
内ノ住侶我ガ居所ヘ往還也ニ至ハ深田ニシテ安ク寛ノ
要害也寺ハ大手ナレバ一騎ヅツ打続キ細道也ト言上ス
一我先ニト名乗ラバ一言アテ、庭中ヘシ寂シトテ押寄見ヘケリ
ツカセス攻開城中ニモ究竟ノ兵数多籠リ居タル寺也八
中主書落シ玉フ事叶ハ思召引退テ伴衆ヘ要害
ヲ守リ数日ガ間攻開ヒケル處ニ大手ヨリ北十町余ル陽退ス
トエフ所ノ陣ニ日ヲ経ルマデ滞也トエフ者有リ大名
ノ来ハ論ノ事ノ外ニ大ニ味方ニ出テ付彼ノ力ニ衛
大由ニ名ケル勇者有リ年ツ香リ等寺ノ日ガ内ニ居
摩守行幸トケ近陣ナケ村ノ寺ニテ臣民ノ味ニ住居ス

我ルニ子ノナキ事ヲ悲ミ薬師ヘ七日籠テ一子ヲ授玉ヘト
祈ケル七歳ニ満ル冬ニ白髪ノ老翁一人何共ナク来リ玉ヘ
汝ニ授ル子ハ非ザレ共汝ガ不便ナレバ教ニ也成ニ子
ヲ設シク思ハバ二十ノ山ノ清滝トイフ所ニ至テ七日籠ルベシ
以今来ラバ是ニ嬉シケル子ヲ儲ケントテ庵ヘ参テ程ナク行
宮お二ヲ尋ルヲ崇リ出ニ山ニモ見ル城ニ清水成
庵ノ際ニ々ト大有ケル所ノ是ナラント思ヒ籠リ居テ七日
一子ヲナゾ祈リケル篠リニ身疲レケレバ暫ク傍ノ大樹
蔭ニ寄テ休玉フ所ニ天ヨリ花降昔来テ其青
四方ニ薫シケレバ不思議ノ思ヒ尚モ木陰ニ深リ薫レテ
寂ヘ玉ヘバ是ヘゾ来ル者ノ廿ニト覚ヘシテ十二人天下リ着
給ヘ衣ヲアタリノ木枝ニ掛置皆清滝ニ下リ浸リ遊ビ玉
フ其四方十町許リカ間ハ照ケルナリ行者ハ見ル人ゾ是ヲ見之
ゾ其天女ノ廿コトト言ツレ玉ヘニガ花ノ姿ニ心解ケ乞給

仇トシテ云云タリシガ此ト憲出シケルハ此ヨリ天ニ登ル事十六
昔是ヲ隠シ入ントテ手ニ行キ近キ元重罪ヲ隠シ置
未隠ニ立隠レケル社ニ居タリケル天女ハ人影アルトヤ思ヒケン
川ヨリ上ルト等シク衣ヲシカツキ皆天ヘゾ上リ玉ヘケルカ一人
羽衣ヲ失ヒ彼是ト尋ネ玉ヘ行キモ深ク隠シケレバ一人付
玉ヘル鳥ノ如ク取ト悩ミ泣伸クトシテ休玉フ行キモ無ク雲ヲ
又エ来ラセ玉ヘル木陰ヨリ立出テ側ニ寄テ如何ニ玉フゾト問
女中答ヘ也ロ々カ我ハ十一ノ内ニ[illegible]レカ十一人ハ飛去
玉ヘ共我身一人在ハ見ルニ此痛ヘ哀ニ存也扶
思ヒ玉ヘ山中ニハ只一人ノ此住ミヨリハ率(イザ)我宿ヘ休ヘ玉ヘ
ト申シケレバ労ハシヤ天女ハ辰ノ押ヘ自ハ天女
ニテハカ如何ナル古ノ業トシテハヤウシ羽衣ヲ空取リ天ヘ
登ル事不叶只此ノ上ハ何モ御身ハシトノ玉ヘ聴テ
行キト折モ逆シ人家ニ下リ玉イ夫婦ノ契ヲ不浅

侍キ月穴契リ玉フ所ニ年月ヲ送ル中ニ是ハ早三年ニモ
成ニケル天女夢ノ告ニ御覧ト如何ナル若君一人備ヘ玉フ
三界ノ経ニ見ヘ恩愛ニ迷フ理ナレバ下界ノ若ニシテ何時
ニカ暁ニ玉ヘテ呪ノ今ヲ力ト思ヒ一旦若君早七年ニ
成玉フ夫婦ノ此世ハ程ニ玉カテナカリケル折シモ七月七日
ニテ数々ノ宝物出セシニ手向ノ為飾リ玉フ女ザサ中ニ錦
ニ包テ色ニ久ル者アリケレバ天女之ハ如何ナルモノト玉ヘバ
行キハ今ハ玉ヘテ是社ハ代々家ニ伝フル宝物ナレバ用
事ニ不叶トテ其ノ社ニ置御フハ陸ノ契リ後ニゾ思
ヒ知ニ如タリ天女不思議ニ思ヒ玉フ折節土モ待ニ出玉
フ天女不斜悦之ヲ開キ見玉ヘバ隠シ置シ
羽衣ナリケレバ悦テ後ニヘ玉ヒ若君ニ何付我ハ下界
若ニ成タ雖我洛ニ寄リ社行キモ取ト契タリ

ほまコソ借ケル也今度用ノ許サレテ天上ヘ帰ル也母
ニ別レナバ嘆ヤ悲シカラン思バク條々彼ハ惜ケレ氏衰
住山ヘ年身十二ニ成ネバ是ガ今生ノ別也筆ハ始ヨリ文章行殿
ヘ暮ラセヨ帰キ下界ナレ氏ほ子殿ニ名残尤ガ久シ去ヘ
ト宣ヒ役衣ヲ着玉フトテ人ヘケンガ付ム侶天ヘ上リ給フ
若君之ヲ見テ涙ク泣伏シ給フ所ニ行合玉フ佛玉ヘ
然アニ信玉フゾト尋ネ玉ヘバ若君ハ母ヨ玉ヒ給ヒ私ヘ
御寺行ニ役ニ玉ヒ今モコリ後ハ誰ヲカ母トナシ申サンノ
膝ニ伏マロビ声ヲ上ゲテ泣玉フ兜ヲ数ク行者思ヒ消々ニ
ナリテ信玉ヘシガ暫ク有テハ涙ヲ押ヘ彼者抱リテ人玉フ
ニ我ハ是天女ヲ下界ノ凡夫ニ見ヘテ子ヲ産玉フ諸仏
を救ン為リニ都ヲ雖成千年余リ年ヲ送孫ニ
一子ヲ産ヒヘバ條々惜ソハ侍レ氏今論ハ少許ニテ

只今天ヘ上リ給フ也若君成人シテハ宿ヲ并ブル人ハ有マジキ
上ノ山ハ未タ有ル名也是ヲ仙郷トシテ居住シ
玉フベシ之ヲ不思議ト思ヒ玉ハバ上ノ山ヲ見ヨ
御形羽衣有ヲ見ル之ヲ掛リ給ヘシ四方ニ里ニ渡ル上山
雲ニ一印ニテ宿ヲ成ル給フ又信庵ニ林木不枯之ヲ挂
ニ定玉ヘ(後ノ寺)ニ佛法繁昌スル時ハ必ス林木可枯
山ヲ仙郷トシ玉ヘバ清庵ハ北也東ハ水ヘ落テ注ナシ給ヘ
申ノ方ニハ酒水流マジ又此ノ上ニ有時ハ滝水落
ルベシ又此中ノ時ヲ造リ申マジ之ヲ別ノ鳥ト云
皆人ニ七不思議有 宿共若成人シテ月日ヲ施サンズ満ルト
二色ハ本ニ之 ... 中ケン智人ニ語レテ請奉ガ ... 学ニ給セル
ニサク言ヲ先ニ ... 有ヲ並ブル右ナシ
給七ヲ下十七八ノ時今成シガ老若 ... 多ノ合セノ

武邑遁雖非有ケルニ常々ハ隆ヲ鳴ラス若党一人進
出テ吉次信高ガ孫立セシ處ニ五六人シテ持傍ス
持抛ヲ陸有勢モ恐カノ者共ガ試ニ二トテ彼陸ヲ
二三人シテ上ゲ下シセントシケルニ中々叶ハザリシニ能ヲ
此等ガ力トヤセバ件ノ一人シテ自由ニ動シ玉ハンコト不存也ト
申シケレバ此者ナル者其実ニ此陸ヲ一人シテ持ハバ
賜ハルベキヤト申ケル程ニ御意ハ其ニ任ス一人ノ持ナリ
玉ヘ其モ有ルハ勢ヘハ別ノ陸ヲ持達テ可押ト言ヲ
被仰ケル所ニ此者去ラバ只一人押シ玉ヘトテ一
此ノ人件ノ陸ヲ行ヘ行テ此陸ニ手ヲカケ安
クト引寄ル所ニ一ツ王ガ孫ツ中進ニ領地
蒋子ト申ス其者古寺ノ有ケルニ御望ミタリシ
此ノ力也ト云ヒ陸下十九歳ニテ二三ヲ勝リ

引卒シ三日岩口ニ前ニ天ニ云ニ馳集ル山形ガ押出シ八
本ノ山ヲ超ヘ一片ノ白雲トナリテ桂郷ナドモ
従ヘ分陣内ニ留ル騎ナ多兵ハ靡ノ陣ニテ陣内ノ
矢先ヲ持テ待カケタリ寄手ニ引退バ彼ノ出山ニ登
リ陣ヲ復ヒ白雲ノ山ニ引ヘ又毎向ニ於テ
入ケルバ一二三騎ノ者ニテ麓ニ下リ坂廻リタル陣ナリ
我先ニト此ニ此ノ陣ナル陣ヲ有ハトテ取抱ノ陣ニ
時自ニ立コソ急ナル早々坂崩セト有ケレバ第一陣二
三百騎押セ寄テ間ヲ開テ陣中ヲオリカリ
開ク大吹ヲ見ルガ陣所ニ仰向ル進ヲ宗トスル有徳
六供ニ国ノ福ルモ此後進二ケル有ケルガ名ヲハ讃岐
トテ大力ナル者進ニテカ人ニ勝レ強キ力ツ盛ラハ無也
ノ者ニテ方ラヌ矢ハ強キ手ノ手利成大剛法師ナリ

人皆今武蔵坊ト呼ケル、後夜ノ前ニ法師ト備
馳ケ出レバ人ヲ蹴崩シ打チ潰エスト云ハズ十七法師
馳出レバ満座ヲ守リ満座ノ打出レバ今武蔵坊ニ止リ
心静カニ防キケル義光公大ニ怒リ個紀ノ小僧ヲ責
旅シ真矢ノ力ヲ雌雄取リシカズシトテ四五ノ騎荒手ヲ
入替ル責闘ヲ興福寺ノ悪僧共ハ之ヲ見テ六ケ度
又我ニ主ヘ一軍セシトテ打物ニ向ケ其ニ韋駄天ト謂ハル拔
色布帷子鍍ヲ入タル扁ニ立ニシテ電ヲ閃ニテ
麿衣ノ揃華胴ノ腹巻ニ紺色ノ上帯鉄ノ袴包ノ
精(巧)ニ上ミ下ミ直色ノ紅ニテ縫渡シタル弓
中手サシ獅子狂乱ノ佩楯シ青鹿ノ胸当シ出鉄
頭巾引立テ間防カケタル鐙通シテ妻手ニサシ長サ
九尺ノ三叉戟ノ太ラカナル柄中握リ四十一左ヲ太刀差

ノ矢ヲ負イ長サ七寸尾枝友作ノ近字ノ下ニ去年ノ如クナル黄川
川原毛ナル馬ニ紅ノ三ノ紐掛ケ白手綱ヲ付猿ト栗トニ金
限ニテ磨キ入タル鞍置カセ二ラリト打乗リ直セル大音上佛向ニ
ノ塔鋪ニモ隠レ陸河隔字ヲ今武蔵坊トテ大衆僧ノ
名ヲ取リタリシ是モ若君年ノ時ヨリ寺ニ向ヒ組ニナシ武
藝ヲ好ミ以テ今其ト偽ヘス文才ト人ニハ仮名書名ヲ乗リ
玉ヘ打磨ガ打ケル鏃ヲ一ツ差シ若君ニ手向テ過去帳ニ記
墨田又毎向戦シ平サトサモ現筆ニテ呼ブ此戦ニ先陣
ヨリ真先ノ鎧ノ目タル武者長ケ寺社ノ太刀遅レキ馬ニ打
騎ニ揃色ノ緋威ニタル大ノ山伏斧ヲ携ヘ唯一人真先キニ進出
テ馬乗旅シ大音上ケ名乗タル今武蔵ニテ候カ其ハ
羽黒山ノ卒徒ノ者ニテ太慶作ノ名ヲ最ニタル岩石ノ金剛
武士浅石坊トナル悪僧ガ言ヘ大和般若ニ構セルガ和尚
ノラ勢中津サネノ松ヲ試メシハシ法吉リノホトリ射ヨ
加ヘト仁王立ニ立タリケル浅阿弥之ヲ見テ心イ工

シテ望マセ玉フ者哉去来面白ク仕ントテ三年竹ノ節近
ナルニ鶴ノ羽ヲ矧合セタル矢ノ箆比竹一筒ノ如クナルヲ
皆巻ヨリ上ヘ十五束有リケルニ長サ六寸鏑ノ根スゲタル
大ノ鏑ヲ射込ンテ坚メテ切テ放セバ揉タル山彦ニ答テ
吼テ湊石坊ガ弦道リノホトリ血煙立後ニ把シ梶原平
五ヲ射財吉ガ首ノ骨ヲ射貫キ鏃ノ柄モ竹付タリ尤モ共ニ
俯伏ニケル湊石坊ハアワヤト云ヘルガ倒ニ死ニケルハ
持タノ兵共ハ櫓ノ窗ヘノ扉ヲ法大鼓箙ヲ敲キ鳴時
付タリケリトテ窓時鳴モ静マラズ其時ハ之ニ伝ヘヲ得テ居
取引詰散々ニ射ケレバ矢ニ把ニ三十騎射落サレ叶ザル手
ハ之ヲ見テ此ノ首途カ嬉キニハ浅ノ楯モ除サレヘカラストテ引
退キケレバ湊石坊侍モ引退ル今武桜櫓ニ登リ穴從セハ二
陣トヲ見テ我手ノ兵五百騎性ニ有ン今武坊
今日ハ寄兵ニテ得功セシ満足敵ハ出ツヘトテ二人今共引テ完ル

既ニシテ其日ノ暮ホドニハ赤地ノ錦ニ白糸ニテ獅子ヲ縫ヒ
タル直垂ニ白練ニ黄糸ニテ青山ヲ分出ル麒麟ヲ縫タル左
右ノ小手竹ニ虎ノ佩楯シ白檀磨ノ臑当シ赤糸縅ノ
腹巻ニ星兜ノ大鎧ニ鍬形ヨリ合抑包ノ上帯ニ金ヲ
延造リノ三尺二寸ノ太刀一尺七寸ノ打刀十文字ニ指テ鉄
ノ引カヅツテ厚サノ幔掛月毛ノ馬ノ長ケ八寸計ノ太逞シキ
ニ沖黄ノ鞦掛前後鐙ニ白星ノ鞍置セ猛ツテ其身
軽ケニ打乗テ身ヲ不離持タリシ五尺一寸ノ陣ノ打物提
追出ス残ノ軍兵ハ大長刀打カタゲ馬ニ飛乗テ尤モ遅
残ニ骨折玉ヘバ今日ハ能ト腹ヲ居ガ疲ヲ休メ半サ
モトガシク思召テアレトテ二騎打并テ掛向フ時ニ七寄手
ノ陣中ヨリ月鐵ヲ横ヘ馬ニ乗出シ鐙踏張大音上ゲ名乗出
羽守源義光ノ家ノ子矢口五郎太郎トヤ申者也和殿
ハ誰ト問今武蔵坊以テ名乗ハ今武蔵坊義

阿清トテ玄隠大秘傳ノ名ヲ取リシ上也君ニテハ吉来
又巻セントテ討ケカヘル中ヨ房月鉄提ケ所ヒシガ古方名
要ノ上手ニテ馬ヲ筆道ヒ華廻シ開ハ敵モ味方モ早ヲ止
テ又於ス之未方居ハ魔醯修羅王ト作ル武者荒山ヲ鬼
前世ガ習シ術不思儀ニ人後ヘ付ヘン来居ヲ招キシガ大手
ヲ変ト云符フ又学武界ハ信慶ガ付ニ手家ノ寺侶カ侍ヘシ
秘事ヲ巻ニ引ハ付ノ辺ム井会テハ別レ二ツ付ケ十九開大居
陳河備ニ苦リケルニヤ月鉄三ツニ折ニケル右衛門遁サス太刀抜
御合フ今武界之ヲ究テニシヤ抱ミシヤト馬栗掛テ下ト打石
ルバ之モ中ニヲ折ニケル今武界之ヲ究テ今ハ辺ヲ討ハン
共ニ此一冊ノ借侍也我手ニカケン了悉下ナレバ助ル也又武
士ノ義悟ニヲ折拍モテハ命ヲカ力トレ玉カシヤ早ク陳ヲ退ケ
コト堪テ悉限兵ヲ吋馬ヲ体ケン右衛門之ヲ見テ保ニ見
神ノ身ニ捨ル返サレトヤ悟有ヘ道カナトテ取ニテ返シ義ヲ捨
今前ニ見テ此従ノ具サニ述ニケル義去ル路留備モヤサシ

キ法師字佐ハ字野加進アリテ今日ノ命ハ助カリシゾ是沙汰
ノ首ヲ見ス侍サスルトテ太刀玉ケケレハ家ノ宜目廷有ト退
出ス居ガ良家ニ残ナキ人ル朝比奈左衛門宇安ハ馬ヲ兼出シ大音
上ケ義ヲ去ル共ハ朝比奈左衛門安トヤ七名ニテハ年侍テ
サニ去ル辺ハ催ニテオハスルトテ長刀毒手ニ引ツバム手取カ仆リ
馬ヲ早メテ無安ヲ満ルムモキ定テヲ合ハン我社辺
只ノ体ヲ可能他十余可随ニテハトテ浅栲ヲ捲上ニ馬ヲ
進メ無量無量ル開備辺ガ力侍リケン馬上ニ寄ル者也指ハ
毛双ノ芸手也人ニ上手ヲヘセントヤ思ヒケン心有ル振舞
我へ
寄セシガ何付辺トヤ退ヒケン霊ル権踏御子一足ト云フ馬上ニ
太東栗カケ守安カ妻手ニ付辺持ヌルモ刀折居シ小時放テ
引寄テ惜兵之取ランヘントテ左右手ノ中ニ抛入ル坊ノ脚ヲ
ケシカ喜ビシサニ我手ヲモ脚ケハ中道馬ノ息ヲ体ヌケル挙ニ兵無
支人共ニ後世ヲ此ニテ成佛語ニテナシト笑ヒケル舞ヲ三十文作リ

林中ノ兵三百騎計駈出ル信長モ凄ジキ体ト御手ヲ見ルニ心モ[illegible]ク
馬立計リ存スレバ返リ無ニテ出ル此時ハ体[illegible]ヘ一合義ク去リ
見苦シ又シトテ一度ニヤカンル寄手之ヲ見テ一人モ不ヲ打
取トテ深田[illegible]堤手ノ毛[illegible]、我先ニト馳合命ヲ惜ム一足モ
引ナクト伺ヒ合セ火出ル程ニ打付計モ有討死モ有
ラ
一ゝ上ニテ了但合落宅ナリ首ヲ取モアリ手ヲ負テ引モ有
何レ陳アリト穴ヘ入サリケル寄手ノ大将見之ヲ見テ唯
守成ヲ六方ニ[illegible]ヲ探トノ[illegible]ハ我手ノ兵三百騎ハ[illegible]
開城中ノ兵無不[illegible]ニシテ押進ミ細ル寄手後ニ続テ[illegible]
攻上リケレ日モ西ニ傾キケレバ其日寄ハ止ニケル[illegible]
林中ヨリ兵一方ヨシ千手ト[illegible]変色御出テ則[illegible]
シケル[illegible]夫[illegible]通ス[illegible]取レト下知シ給ヘバ時ニ
ヨノ若者共[illegible]ノ[illegible]ト[illegible]地ニ付ケカンル敵モ取テ返シ
運[illegible]ニテ出[illegible]計リ長ク残ツ[illegible]大[illegible]上[illegible]天[illegible]桐[illegible]

之ニシテ又ンテ手ノ者引具シテ畔ヲ伝ヘテ[illegible]合[illegible]又四方八面ニ
切テ廻ル敵[illegible]ヘ無ニテ一文字ニパットド返ス味方後ニ無ク
[illegible]陳退討ト討取リケル日[illegible]ヲ打[illegible]ラ之ヲ見テ退
手ノ[illegible]ヲ開[illegible]一騎打ニ出テ例[illegible]ノ[illegible]打ニ打振リ勝[illegible]
色[illegible]味方ノ勢ノ[illegible]モナク馳入テ手ニ[illegible]付[illegible]手
[illegible]ニシテ[illegible]ト打倒ス[illegible]ニ乍入シリ[illegible]山ニ住居ス
大力ノ[illegible]ヲ取リ色安間何[illegible]ト云フ者[illegible]ヲ見ルニヨリモ
アナ[illegible]若者[illegible]カナ何[illegible]ナレバトテ[illegible]ニシテハ[illegible]モアラン
我ラ[illegible]見セントテ一文字ニ[illegible]セケル[illegible]満足[illegible]
大[illegible]手ヨリ一人進ミ出テ[illegible]ル[illegible]ノ[illegible]々
一打[illegible]セントテラ手ニ[illegible]付ケ[illegible]ニ打テ[illegible]バ[illegible]ハ同ニ
ヨコシ[illegible]モ後ヘ打[illegible]タリ[illegible]ト[illegible]ニテ我
先キニト引退リ[illegible]ト[illegible]ト乗リ[illegible]通信ヲ人
馬ハ不[illegible]討落ス寄手ノ兵ノ馬ノ足ヲ立[illegible]山形[illegible]

引退備後守モ猶ニ棄リ天主ヲ離レ陣山ヲ二三
丁引退ケ昌ガ心ニシ此ト思出レ只一騎モ退レ帰ル道ヲ
遮ラルレバ救ノナクバ大事ナラントテ引返シケルガ今日ヲ無リシ
馬ナレバ空ニ腹帯後ニシテヲントテ手ノ内ヨリ踏落シ侍主
サンガ起ケル父ニ寄手ハ付テ居乗リ昌ニ備後守二三丁
西ノ縄手へ至テ勝ノ道ヲ取テ唯一騎取テ返シ近々ト乗
寄ス備後守カ甲ノ真向ヲ丁々ト二打三打打チケレバ備後守
勢来至ヲ見レバ土岐ノ若武者也 物々敷ハ健人ゾ若衆リ
指ヘトナレケレバ七日左馬之助ガ嫡子七日十郎左衛門
ト名乗ル 後モ高其ヲ射テ佐久左衛門若武者ト敵
身ノ如キ者ゾ手ニカケンヤ大人ナレト手ノ志優シケレバ
助ケルナリ其ハ相模カ手ニ取ソ早々帰リ給ヘ縁アラ
バ宮ケ児ト其代ラレトケ案ケルガ備後守カワリテ名乗リ備モ
倦ルキ若武者ト哉アノ場ナル子ヲ救ハバ誉バカリ続シカル又レト

一人言シテ陣ヘ入ル 七日ハ佐々木遠ヲ其主ニ帰リシガ人々侍合
申ケルハ佐々木カ腕[redacted]後々ヲ付付ト申セシ
力ナキ者ガ備ニ寄ルカ如シトモニケレバ七日トテ宗トモ我々カ腕
二ヲ及後ニ寄ル振返ヘ入ルハヽバ腰抜者也トミシバサム
隙ニ腕ナヤ居シタバ如何ナル大カナレバトテ御事成マジサ付
首取ルヘシト思ヒシニ腕盛ナ壹々ノ事ト存気色ナリ腹
帯ヲ停ル故甲ノ陣ケアルハ不如意ヤト申ケレバ
人毎ニ信ニ剛ナル七日カ手柄ニ梅種ニ二重ニ香ヲ放ヌ事
ヤト感ジケル 我ハニ吉凶何ガ仕ケリケン陣山ノ述懐ニ狂
歌一首書ケリケル
日ノ本ノ下ニ有ル武者乍ハ有リセバ我も公ト首を近江ノ
之ハ日本ノ侍大将ガ今宗ニ有路侍大将ノ名ヲ召シ人ドテ
ミ人備後ニ劣ラザル大剛ノ者アリ我々名ヲ隠シケ
三ハ其名ヲ久シク詠ケル歌也サレバ一度此公ヲ懐カシニ

手痛ク追立ラレ殊ニ数日ノ間ニ[illegible]疲レケレバ[illegible]山形
ニ仰候アツテ翌日[illegible]ニ宜フヤウハ思ヒノ外ニ彼ガ
ニテ大切ナリ又奇怪ノ事多ク押寄レバ末ノ山ヨリ雲霧
来ニ覆トテ見エザレバ一片ノ白雲トナリ其ヲ隠シ[illegible]ノ下ニ[illegible]
[illegible]ノ すケ出テ[illegible]ニ押寄ノ付[illegible]川ノ水[illegible]以テ内
ニ数百騎ノ兵其先ツ持ツ侍共ニ[illegible]衣掛武者一騎
駈廻リ[illegible]何事[illegible]行ク[illegible]
[illegible]又[illegible]力計リニアラス
[illegible]知レ入リトテ[illegible]一方ノ大将[illegible]
彼ガ体ニアリナン但ハ[illegible]レト宝ヘバ[illegible]ヘシ
トテ宝[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

奇怪ノ[illegible]殊ニ[illegible]アレバ手ニ入[illegible]レバ
[illegible]玉ヘ[illegible]カテ[illegible]ノ[illegible]ニテ[illegible]中
[illegible]ノ体[illegible]用事有テ[illegible]ヲ[illegible]セヒ[illegible]文ノ[illegible]
[illegible]ト[illegible]中山[illegible]ニ[illegible]太郎[illegible]
[illegible]一人[illegible]同道[illegible]ト申[illegible]
[illegible]ヘ[illegible]行[illegible]ニ向ケルハ[illegible]
何方ヨリ何地ヘ[illegible]ル人ゾト[illegible]ケレバ[illegible]テ[illegible]
[illegible]ニ[illegible]
申[illegible]ハ[illegible]モ[illegible]者ニテ[illegible]
トナケレバ[illegible]道中[illegible]ニ[illegible]上ト[illegible]カ[illegible]我ハ
[illegible]ニ[illegible]ニテ[illegible]ハ[illegible]
[illegible]成サレ[illegible]七[illegible]ノ[illegible]ニテ[illegible]
リケル[illegible]ハ[illegible]ニテ[illegible]夫ハ又[illegible]
[illegible]ケレバ[illegible]者[illegible]ケルハ我[illegible]ノ[illegible]ニテ[illegible]道[illegible]
[illegible]ノ[illegible]ニ[illegible]ハ[illegible]ノ[illegible]掛[illegible]ハ

遙々ト尋ネ来ル有ル故ニ伏ト其哉ナリ階上ニ近ク其ノ保力
三ツ祝儀ヲ行ヒ御通夜ニ思ヒ代ノ事トナリ自ラ自在ノ絶ヘタルハ殿上
ノ祝物ヲ請ヒ執大道ヤ御近ノ太サ過夜ハ下ル大ナル砌キ至ルヘシ
ト折節デゾ我ニ加ヘ是ホタリ哀レ意思ニ在ナリ奇ニ語ルヘシ
上ハ何ノ安ノ息ハ旨如アラモ我ニハ我ホニ任セラルヘシトテ其具
テ登リリシガ絶ナク尋ネ着ケレバ是ホガ所ヘ左近モ伴ヒ行キ
主人ノ用テ三位ケ日ノ暮方ノ事成ニ是カ左近ト尋ネ出レ稲
荷ノ社ヘ差詰シ此壇ヘ其聖御冥大シケレバ衣付正シヤ白登ノ
老翁立出王ヘ幸ヒ申テ達々来ラレタル条求ルニ光門外ノ
容底ノ三夜ハ不紙ヨシ三息ナク紙ルニハ此訴ヘ求ルヘキ由申
セバ門外ヘ立出去ラガ紙シトテ左近ハ徂ナク三夜ニ代ヘケリ
是ホ心ト息ア相伝モ不思儀ヤ如アナルヲカナスラン我モ
抵ノ真夜ニシテ救ヘノ状ナセヒ祈ヲ行ヒハマヅ往カ達
バサンヒ思ヒケリ折節雨ナク降ケル折抱リ覚キテ宿所リ
シガ別クト是ホ尼ソ三夜投紙二人打連レ其訴ヘ上リ

此屋申上ソレバ如律ヨリ侍ケルガ二人宛ヲ見レバ二人ハ三ヶ日ノ二十
書置テ持出ル今一人ハ自限ノ跡ヲ持出シ直ニ指出ス左近
是ホ今ニ我等ニシテ書置ニ工三夜哉トキ読ミルヲ見レバ熱
気アル白面ノ君ルケル三新キニテ台室キ童子之ヲ御テ相
行文持テ出是ホ左近カ前ニ置ク是ホラ思ヒケルハ是君ダバ
如アカ成ヘキソ又之君ダニハ救ヘ状ヲ附ル門成マジ君テ後
ハ究モ角モ成ヘキゾト思ヒ定ミ三夜哉ヲ一紙ニ書シバ此様
甘露ノ如ノナリケレバ礼ニ文三通君ニケル童子書ヲ納
除ニ指行ケレバ其時有テ是君立出テ之ハ救ヘノ状ナリトテ
弥啓ノ揃ル物ヲ其出ス二折紙テ程ヒカラゲケル物ト手ノ体
ニ扼ヘ揃ル水晶ノ珠ヲ如意宝珠トテ君附ケ其上ニ包ミテ下
サル二人之ヲ成哉シ雖有トテ後ナ御ニ立帰リケレバ人々肝ヲ
消レ不思儀ヤ達ニ来ルヲ其抵其ガ二疋年リシハ
何事ゾ尋キテ之ニ有マジ何招凶キテノ吉ナルカ如アホテツ
ト我モノヘト立寄リ是ホタテ不思儀ノ二思ヒイヤク我ハ

去ニアラズ去モ又今朝ヨリ見ヘ給ハズ御名ニテハトゾ云ヒケレバ宿
ノ人々之ヲ聞キ鳴呼アハ有ニキンジアレヲ又ヌシヤラレ言ニテ呼
ブツヤスレバ中々憎マジヤ去退出セヨ殺セントシテ持テ扶コト出
呼ゾ為方ナク去中ハ情ケナレ我ニ長太夫ト成モノカト
云ヒケレバ又アレ叶ハズトテ退カンカ今ニ左衛門ハ行テ
長太夫ガ云ヒケルハ汝身ハ玉取リ女狐ナレバカヤウ名ルモ哉也
下去我ハ今日ヨリ長太夫ト云ヒ身ナルガ今斯ノ答ヘ為スルハ
不思議ナリトテ涙ヲ流シケレバ左近申シケルハ我ハ之ヲ十六八
答ルハ尤也此身ハ自ラ名有シ故耳リ玉フナルベシ宝珠ト
救覚悟已ニ哉也ト後悔シ玉フ流ルマジト云ヒケレハ長太夫
カウカケテハ早後悔シテモ返ルマジト去ルハ此宮ニテハ是モ之ヘモ御
ルトモ叶フマジ名誉モ退出サレ候ナシ由モ勿ハ又幸十六ハ長形
冥加ノ為ニ身ヲ其ヨリ下ラント思ヒ共其術ナシ[illegible]ハ進
去年ヤ[illegible]行テ其術ナシ[illegible]術者[illegible]
斯ト神変ニ有リケレバ実ニ夫ハ是アラン[illegible]千余リノ老人白キ

去衣ヲ着シ御所ヲ出玉ヘ此方ニ向テ先ヅ[illegible]物ヲ
失フテハ宝玉ノ大事ニモ[illegible]バ如何サン若シ身ヲ果ヒント
思フ時ハ其宝珠ヲ奪ヘテ其罪ヲ救ヘ玉フベシ[illegible]
ノ方ニ有リ是レ身ヲ山ノ上ニ太[illegible]世ニ在テ六ケシキ仮令
山ノ北ニ在リ[illegible]大ニ谷ナルコト[illegible]ニシテ[illegible]行セヨト
此時ニシテ老女[illegible]ヘリ又二ハ[illegible]有トテ共ニ[illegible]
彼宝珠ヲ取ニ昔ハ本ノ長太夫ガ[illegible]ニシテ玉ハレト[illegible]
ニ[illegible]有ケ[illegible]ヘ出仕リケルニ[illegible]
御ヲレ給ル由[illegible]
[illegible]左近[illegible]
ケレバ左近ニ云ヒケルハ[illegible]
叵カアリ可有此体[illegible]
内左近モ[illegible]
ニ出仕リ[illegible]

代ノ例也然ラバ此様ノ守護神トナスベシトテ武ヲ飲ミ死ヲ主
フニ[illegible]ヲ以テ書シ知ル也先ヅ父ル者ノ知ル處アリ以テ之ヲ任ス花
太子ガ此ナランヲ言ヒ玉ヘバ義玄云ク汝大士ニ問フ何ゾ疾ク得
一同此[illegible]得テ来リシヘバ思ヒ寄ラズ是ヲ知ルニ不思議ニ為ス
サレバトテ云ヒ然ラザルニ我先ヅ合ニ先ンバアニ法門ヲサセ[illegible]
怒リ[illegible]遊変化シテ[illegible]ノ法ヲ伝ヘ[illegible]ト宣ヘバ[illegible]
之バ宝ヲ進ミヨト[illegible]ニハ我等ガ祖師弘ク大師ニ任セ
天下ノ[illegible]武運長久[illegible]ニ満
然ル[illegible]我ト[illegible]
足ル[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]ノ[illegible]寺ニ[illegible]四面ニ[illegible]
飾リ[illegible]摩川[illegible]
[illegible]ノ[illegible]香ニ[illegible]ニ[illegible]

盛リハ灯火ニハ空守ノ由阿伽ニ白隠[illegible]日々[illegible]
一七日ニハ地死ノ法ニ二七日ガ摩川文天ノ法[illegible]行[illegible]
達磨ノ[illegible]ト云ツハ[illegible]
在ス[illegible]法ヲ[illegible]
西向ノ[illegible]北向[illegible]
打破ノ[illegible]燈ヲ[illegible]三[illegible]胸ヲ叩キ[illegible]
不離加持セシ[illegible]達磨ノ手ヘ投カケ[illegible]
薩摩ノ[illegible]
キ摩[illegible]
[illegible]
住メ[illegible]
[illegible]
今[illegible]
雲[illegible]以上ニ[illegible]

ハズ大ねトス云也者ヲ討取ルベシ何ノ不意ヲ伐ニハ以テ迚也
守殿ハ勝リケん北ハ之又守殿ヲ祚ト傳申テ七三ツ日一戦ナル
公ニ尾張守ニ宜ヒ是ハ何トゾ先モ急キテ呂ケリ入レヤト宜
ケバ尾張守ハ畏ニ候得ル御下知ヲ待ル引入謀状ヲ以テ義光ノ
其元状ヲ和保光自ガ方ノ子重九郎ト云フ七日ヲ御下知
和漢くミテケレバ隙ヲ窺テ光自ガ伴ヒテ呼入サセ母ヲ九郎
光信ガ首級ヲ以得状ヲ以テ出ル備ニ本丸ニ御首ニ尽ヲ
雑兵ヤ通ハ組以テ寄キレ加ニハ數ケ處ニ立ヘ掛呉雖書
戦ヲ遂モ心之加力武勇ヲ得テ御味方ニ奉ヘ不以偽判
也公ニ安良侵權之股底光於書真月ニ忠ヲ未可心見之
比ヲ道ヲ又近卯處ニ右之旅ニ相之ルヲ及合暢子任に之
右ヲ為ニ死不安中又一戦光以候給有之ヲ以テ逃状ナリ
入ム死ヒ方紫ニ取シニハ右之通ニテ全ク毛虚ヲ任セ義光
此旨ヲ信ニ大庭ヘ上使ニ申シテ氏内ヘ先近日ヒ者府佈也
寄神之出状ヲ以テ懺悔言

山形十内臣家尾張守光信

上伊之
日比野下野守殿

トゾ書タリケル則神文ヲ以テ其文ニ云
今度家来氏家尾張守逆心ニ組内ハ其方武勇之段及
于也於足下江御奉目守也同後心ヲ存ジ味方ニ被属
候事し投捨逆根之心ヲ地ハ忠節ニ以テ其方子孫迄又手
ニ我細少之恨ヲ以合体致し右夫同志ニ可思也此旨
毛頭不可有違変者也若偽ニ候ハバ日本六十余州大小神祇別
而當国鎮守熊野八幡大菩薩之御罰可蒙候者也失ヲ削刀
未来永劫浮世ニ有マジキ者也仍起請文如件
六月十五日　最上義光　血判
日比野下野守殿

下野守ニ陳越ナリヤ続ヤ下之ヲ天ノ恩ヲ戴キシ矢冥

加ナクシテハ争カ個ノ佳生平ニ可欲ヤ今其ハ一旦ノ好
甚シ盡シ故ニコソ和尚ニ一味シ久シ武臣一我把ヲ不背ト
一味セハ其在ニハ云フニ及ハス我所持ノ国モ攻落サセ甚子二
孫山花ニ迷サシ玉ヘ和泉ナリ其往我先ノ手ニ属シ安堵セシ
又五ケ所ニ存ルバ如何ナリカ能シカルヘシ和尚之ハ可ハ良ムヘケレ尼
甚子一孫ニハ孫尚存シ其後ノ思ニ深ク氏和カ安否ヲ役
シケレバ依右両月有之形之立御ノ主人ハ此様ハ尼陀守氏康公
ヘ差上ル其返札ニ曰
預此紹見之今大悦此事殊ニ大形ノ之ヲ此状ハ於陣
上ハ宣敷遣ニ下去ル数振ノ蓋ヲ右他ノ嘲弄
就ハ為似不欲此ニ大公ニ此息女可降ニ申請之旨ヲ
事ノ若ク之我紹是非ナク我ノ為敷ノ山ノ目ニ午府ノ来通而
決ハ宜ク何ハ於書ノ思事謹言
五月十六日　日野純ヤヒヤ満延
謹上　氏康居陀守殿

ト云ノ其父ヲ可子直ヲ文其ヲ乙ノ賀ト大君所此世事ニ而柳付テハ乃也
至ル中ニ下此ル其義之ヲ今ニ剣ノ忠ヲ満延カ未ハ分ク行ヲ玉フ義ハ宝ノ怪ミ
ニテ祈術ニ方ニ三ヶ月ヲ修行ヲ守ガ之方ク道ノ人ノ有奇瑞ノ侭ニ之ヲ存シ
有不移時刻十日目ノ夜ニ入ケ夜ヲ七ツ時守手ノ大ク開キシ馳来ル
其氏康ノ陀守ヘ当番ヲ何之是ノ未ダ遂スヘシ勝ス猶旨同シニ氏康公ノ
嘗ル所ヘ陀也今度此社然ハ共ニ備ヘ所ヘ道ノ勇猛之威ハ母
去ル在ハ於向ノ後ニ来ノ手脆シクサハナヤト辰他ヲト朝着流ハ依
氏康カ方ニテ川ノ文ヲ不遂有越境ノ陸地ノ外ニ協テ中差ス
ハクリ和談ノ上ハ約束違ハズ又五ケ所ニハ依旧ノ探ニ有ヘシ是ハ老臣
ハ引手物トシテ三ヶ字ノ太刀一振ヲ下ケル徐ヤ今ハ謹ハ故ニ燼
申ケル八幡斗命ニ茉ニ一味ヲ至ト成現在ノ熟ニ陣ニ来ル事
此心底ニ祉教諸侍ノ批判作ノ傍リ安ハ大自国ナカハ去ニ存
シヲ伊ヲ居陀守ヨリ認判ヲ遣ハ成来タ忠ニ然ル上ハ此機ニ哉ヲ五
只カ冥門ノ作後是ハテ遂ケ有依テ共ニ保受ナリ他ハ好仕
何時ハ世ニカヤ上ニト有ナル人ノ嘲モ不欲降ニ生花ハ如カン古ハ

義光公未能根志ナキ事ヲ庄四郎モ和睦調ヘントス氏家
カ方ヨリ加勢セヒ然ルニ今日迄セザルハ不得ナカラモ傍ニ入リ扣居
兼テ同ノ援ヲ乱シテ我等カ手ニ属スルモノナラハ何ノ否乱
ルベキト有ケレハ
思ヒ宗トナシ上ケレバ此人ヲナラハ此地ニ来モ以也我等モ思シ揃
家子郎達其族ニ及ヒ以今日一戦ヲ挑ミ貴主ヲ救ヒトモ出ケル最早
父陽ニ及タリ此日未明ヨリ打越来トテ其辺諸軍ヲ纏ツナシ先
陣ニハ我ヨリ因幡守先陣式部少輔侍従田播磨守ヲ先トシ
五千五百余騎ノ侍大将ト定メケル後陣ニハ庄内勢
大将トシテ丹村帯刀侍大将保之馬飛弾守
留守右衛門佐卿トシテ其兵七百余騎既ニ庄内ヨリ打
立ケル実ニ陣所ハ同右衛門尉具シテ山形
丁年ノ同年ニ出テ、香気ヲ備ヘ廿日ノ辰ノ刻ニ山形行ニ至ニ
フカ寄取ノ出馬ヲ入テ帰リ立チヌル見ヱ同年ヨリ気立ト

事也志操ヲ大将ニ示シ指揮共来ニ至リ旅寄ル所成ル所ノ陣也
サレバ一同ニ示シ子色ヲ高ク餘人ハ心モ思フナレバ終ニ寄ル所ハ
係モ心ヲ思フ人ハマデト思ヒニシ是ハ天魔ノ魅入カト皆一同ニ力
ヲ落シケル我高楽ヲ備ヘ我等カ運ノ極也ト御押当ヘ一
我サヘ咎ナク付ルヘシトモ挟ヤト能キ上ハ其ノ方々ハ我首
ヲ取主ヘ同此ノ主サリト悟ミ是ハ後世ノ為也ト主ハ一一ト個
ケニ一云ヒケレバ長谷堂近辺ハ皆悪ヲ為セル読裁代ノ孫ヰ
ニハ能ク寄ル処ニ会敵不残我ノ侍ニ頼フ皆会モアラン下去
薩ヲ一ト思ヒ人々ニハ此般出サヒコト社中ヲ見迎ニ今度
能ク寄ル方ノ先手ニ成可ク挑ム夜会能ク悉ク鬼ト称セシ
目ニ入ラバ右ナラバ其近ク思ヒ退根ヲ備ン為サント一ニ
此心ニハ念ナク能セシ府ト共ニ合バ命ハナカラン式注進
思ヒ定テ揃ヲ揃キ揚ケ兵持ナシ丹キ宜時ヒト共ニ
東ハ遊ケ侍ル出又リ山形ノ先陣立ト須川ニ向ケル

ニ而遣テ傳ノ言ニヒ此ク云ニリ若ヘ雲霧キ川上ニ在ト
又ヘラガ川水五色ニ変リ川幡一下許リ水トナリ
流レケル共金ヨリ致ス験ハ是五ヒ馬并川端ニ立テ雲ヲ帯ヒ
ラ陣伍ノ無先キナ持ニ川ヲ渡サバ射カナント扣ヘシ中ニ
モ大和ト覚シキ幔ノ武者金ノ幡ヲ搶シ馬筆廻シ下知ニ
ミナス手ハ立テ向ヘ十レハ退ル、何ゾ扣ヘ究竟ノ
ノ上手ノ鐵砲隠レ居テ下為ニ廻ハ武者右ハ討
べシトテ外カ五帝ニゾ付セケル サテ外ノ武者討取ヘレトテ家
兵ノ宮ヲ君ガ曰ク五帝中レケルハ右ヘハ我付分サケン
前ニ打立フナ我等ガ為チンナ待居ニナ打至ヘトテ何武
者ク蹴ヒケンガ何武者子ナレモ不止駈廻リ下知シケル
サレ矢ナテアテ矢ヲニ誤タズ馬ヨリ大音ニ落ケレガ其
起ヨリ乃足ヘナ閉リキ女ノ力ノ浮ハ茂リ人中ニ盾ヲ
又ケ古狐ト成テ馳入リ大五帝ガ頭ヲ文テリヘナシ遣ニ

花ト女ヘシ五帝ガ救ツテ屋遅ニト待居タン足荘其[illegible]陵
リヤ庭ト矢叫ヒニ致ス搥 鐵砲一度ニ發ケレバ
山地震動ニテ大地モ崩ル、計リナリ川向ニハ古狐
ハ狐数ヲ足数々ニ術ヲ進ルヒアリ付テ化ル気有手ヲ見ニ
北ル々有テ化ル、黒水陥方ナシ川中トナッテ雲ヒモ消失セ[illegible]
手ハ之ヒ気ヲ待テ今ヒテ不思儀ノ其多カリシハ定テ彼
奴カ其業ナルベシ退ルニ不足葉紙洮紙会捕セントテカ躍
メ押寄ハ去ニ怪シ成ケル八向揮ヲ石リ人馬自然ト木
持指手々ニ實無暇ヲ似ケ揮ヲ斬ヲ作リケレハ様ニテ
陶ノ人皆モ三万餘許リ騎トリナリツナテ大将備近味方ノ
兵ト向テ云ケルハ敵ノ若其定ヒケ我等現ハ中ニモ
先世説ハ今日ノ名誉ヲ其先キニ進マハ唯一矢ニ射落
サン物此ニ先ノヘン其先キニ立テ進マスンハ行無之代無シ
埒モリ付ケサン其侍陣鉋ニテ打ヘン好ツ打拓見リ大ベ

落体ハ覚手ニナリト下知シケレバ寄手ハト御坐
寸チ不知五帯ノ四異ニ幕シテ付ニ南龍ノ若党共ニ
ウ究竟ノ上手ノシ三十人〈甚〉出シ陣旋ニハ二ツ王ヨリ
彼処ノ分散合戦ノ木落畔ニ伏兵十五騎乱レ返
ミ先途ト戦シガ寄手ハ大勢十六騎手ノ入ニ替ク
坊陶ノ塚中ト兵ニ告クアリ寄手ノ勇ミナリケルガ寄手ニ乏ミ覚ヘテ
僻メリ終シヤツト循ニ朱ヲ山下ニ攻入ル陣陽ノ面ニ余人ヲ
大手ノ櫓ニ翔上リ矢倉ヘ田丁指詰引詰数々ニ射ケレバ
矢二ツニ四五騎射落サレ目モ不見又陽ニ攸ナケレバ
通ヒ陣ク一所ニ寄手ハ其ノ分ツ塚ノ四角ニ陣取
酒リ是ハ独付先ハ思ヒ立カセヤド不為也　翌日ノ卫
朝アリ押寄ケレ共山ニ雲ヲ掛タル如ク共不叶人根
廻リノ兵ニナリケレバ此ノ不見候ニハ何ノ甚キ若ノ草
リト今ゴ見ニ打ラレ兵ノ立合川ニ手ヲ立テ引ケルナレ

オメチ叫ン

通ナル秘術ヲ揃ハザリケルニヤ信ガ陣ノ刺ニテ矢合セ
シテ陳ノ刺ノナリシカバ打抜ケ風ニ成ケレバ命ハ塵埃ヨリモ
短シ角モ不振ト進ミ出テ進ミ海ヘ八ヒカカリ分ケ寄セ
吶喊デ責同寄手ハ荒手ヲ入替ヘ同共ニ入
モツレ部テケレバ心ハ猛リ勇メ共朝ヨリノ角士バ馬モ泥ニ
入テ疲レケ有ケレバ退キ三ヒ塚中ニ引込ミノ寄手続テ
陰ヲ伝ヒ近付今ハ武成坊ガ櫓ノ上ヨリ之ヲ見テ指立テ引法
数々ニ射立ケレ共木モ立ズ見テ入ケル文ニ寄手又荒手ヲ
入替押寄ケルモ暫シ防ギシ止ハ今ハ是ニ満足人寄モ多シトゾ
待ケルガ今ハ早業ヲ不ケ互ニ入レトケ荒手ニ三十騎ニ
付テ出ニ継モ太刀ハ上打物取テ向ハセ主ヲ討ナバ
見ヨヤ入ラレト成ヘ心待カ今度ノ寄手ノ入ケル先
伴ハレズヤ近付人ニテモ我手ハ嫌ハストテ長刀ヲ水車ニ振
廻シ多勢ノ中ニ切テ入西ニ名北ヘリ南ニ転ケ退リテ見ケハ

手ガラニ一人モキリ討タレケリ又取テ返シ人馬ニ打伏
彼処ヤ爰ニ追伏ク討ケル程ニ三千騎倒サレ侍
敵モ有ザバ押寄大手ニ我カナトモ刀ノ肩ニ打カタゲ静々
ト陣中ヘ引退リケル處ヘ伏勢ノ兵共一同ニ矢叫ビシ
森林ノ陰ヨリ遁ル處ハ吉方ナレバ謀ヲ吉ケ者下シ柿ノ帷
ヲ着テ武者隠シニモ打立モ一方ヘ廻シ隠シ女上ヨリ甲ヲ着
久リケレバ進ミ山上ニ楽ケレバ謀ヲ同ニ捕ヘヲ給ケレバ弱
何ゾ熟無ヲモ手ガ計鉄砲ヲ中ル所返ルマジ寄ル處ガ甲
ヲ実ナリ是ヲ山形ニ吉ガ出テマジ義ヲ下ニ与ル鉄砲
馬ヲ引返シ然ルモ其山形ノ方ニテ見テ鉄砲ノ主ヲ討
ク打ケレバ何カ以テ落ルヘキ馬ハ屏風ヲ倒ス如ク
兆ネケレバ今ハ武運逆サニ沈落セシケルガ越悪ク長刀
押取リ空ニ上ル山形ノ弟之ヲ見テ我告キニ跡ニ近ケキ
中ニ打付テ其ヲ救シ大自ヨ時日モ早ク落陽ニ傾キケレバ

大返シニ引退キ今日ノ義モ止ミニケル陣中ニ四方ヲ立
於尚ハ宗徒ノ人々皆ス是ニ従テ方ヘ付ケ出ハ是非ヲ聞
召討ツル共ニ下衍テ只今直チニ押寄セネバカナハ沙汰アル
二六自画ニ楽出シ討北セント思ヒ我付タルニサバ毛
子ヲ引具シ五百余騎ニ乗リ家ヲ守リ云旅ヲ取テ
主ト我五寺ニハ我実ノ子ヲ半又陣ヲ近付ヲ中ニテ
何ト成ナ共二人討テ手向玉ヘラハ罰給ヘ行ん事ト有ケレバ
一座ノ人々皆尤ト同ジケル下侍何程御中ニ聞ヘタル時尤ノ千騎ノ
兵ヲ打掛ケ時ト代ル付ル北ヲ立テテ今青様ニ打シ落サセ
山北ニ入ヲ隠シ下ヲ射サセ付ニ世ニ出サセテヒトヲ一筆ニ申
打扱ヒ程モ云アサリシカ勝ト負ニ於テ思ヒシカバ
集大勢ヲ所ノ其心ト一同ト一ツ旅ニ子ヲ具シ早投ノ勝ノ名モ
早ク打アル人ヲ討テ陣中ニ出北ノ後手ヲ待ヘキ事ノ山ヲ打破
五等ト居リ写来ル下稿ヲ照シ宗ノ手ニ居シケル今ニ子孫アリ

トヤ、去程ニ七万余騎ノ寄手五ツ手ニ分テ定メ方ヨリ押寄セ周ツニ三
重ニ作リケル是ヲ見テハ楠猶静リ却テ音モセス七万余騎ノ兵共
之ヲ見テ例ノ法師ガ仕業ト[illegible]近付ルモノナランナント一同ニ
地ヲ統セル之ヲ見テ今武者共手ヲ取テ付出ザルモノナラント乗
不[illegible]ノ付テ出ル者也向来方ノ勝リテ党ナルト云テ其先ニ鳥ノ[illegible]
モ山ノ上ヘ上ケレハ楠木ノ楠ニ[illegible]大[illegible]遣レ[illegible]
進ミ[illegible]偽コソ[illegible]情[illegible]二人ハ人[illegible]ト陽[illegible]陣[illegible]
バ[illegible]手ノ五ヲ振ヘ力ラ[illegible]上ケ[illegible]ホヨリ[illegible]
テ[illegible]ハ[illegible]ニ[illegible]七人[illegible]我モ[illegible]トモ実
共[illegible]ニ[illegible]ノ[illegible]ヘ[illegible]ガ[illegible]
レケレバ[illegible]ハ[illegible]ノ[illegible]向ケテ[illegible]
力何[illegible]天[illegible]ニ[illegible]
[illegible]
成[illegible]守[illegible]
大[illegible]三[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]
今[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
手[illegible]
[illegible]
天[illegible]
ウ[illegible]
心[illegible]
[illegible]
[illegible]
シ[illegible]
行有[illegible]月[illegible]地[illegible]

葬之巻ハ下野国竹白田半吉方ニ下ルヨリ
右ハ竜崎橋井保右衛門ヨリ借受写スかへ

守ト仰ギ奉リ安宮山ト号シ別当ニハ山形宗慶ナルヲ安
置シ奉リ世ニ至ルマデ御宗慶ナル代々ノ住侍ハ毎年七月廿日
ノ十日以来ノ古例従山ニ至リ古昔ノ儀式ニ為ス事道祭礼
ヲ申スニ是倦怠勤行アヘキ此ナ御仕舞ヲ為ス者御筆
ジ或ヘ猶々ノ修法実殊勝ナル事度日祝仕セザ可カラズ
又此ノ如ク物事ニ存生之公 慈子ノ恨ヲ以テ会ハ我ノ宗ヲ
法下ニ我正トナサシ 遂ニ止ズ謂マサルハ是カリケン

65949

山形県立図書館
1-0321598-0